

平成24年度 岸和田市廃棄物統計書

やめようポイ捨て、捨てよう汚れた心
平成24年度「まちを美しくする市民運動推進協議会」標語入選作品より



平成24年度クリーンセンターフェア風景

環境部 生活環境課

目 次

1 概況

- (1) 地勢 P . 1
- (2) 人口・世帯数の推移 P . 2

2 環境行政

- (1) 機構 P . 3
- (2) 関連条例 P . 3
- (3) 業務内容 P . 3

3 一般廃棄物

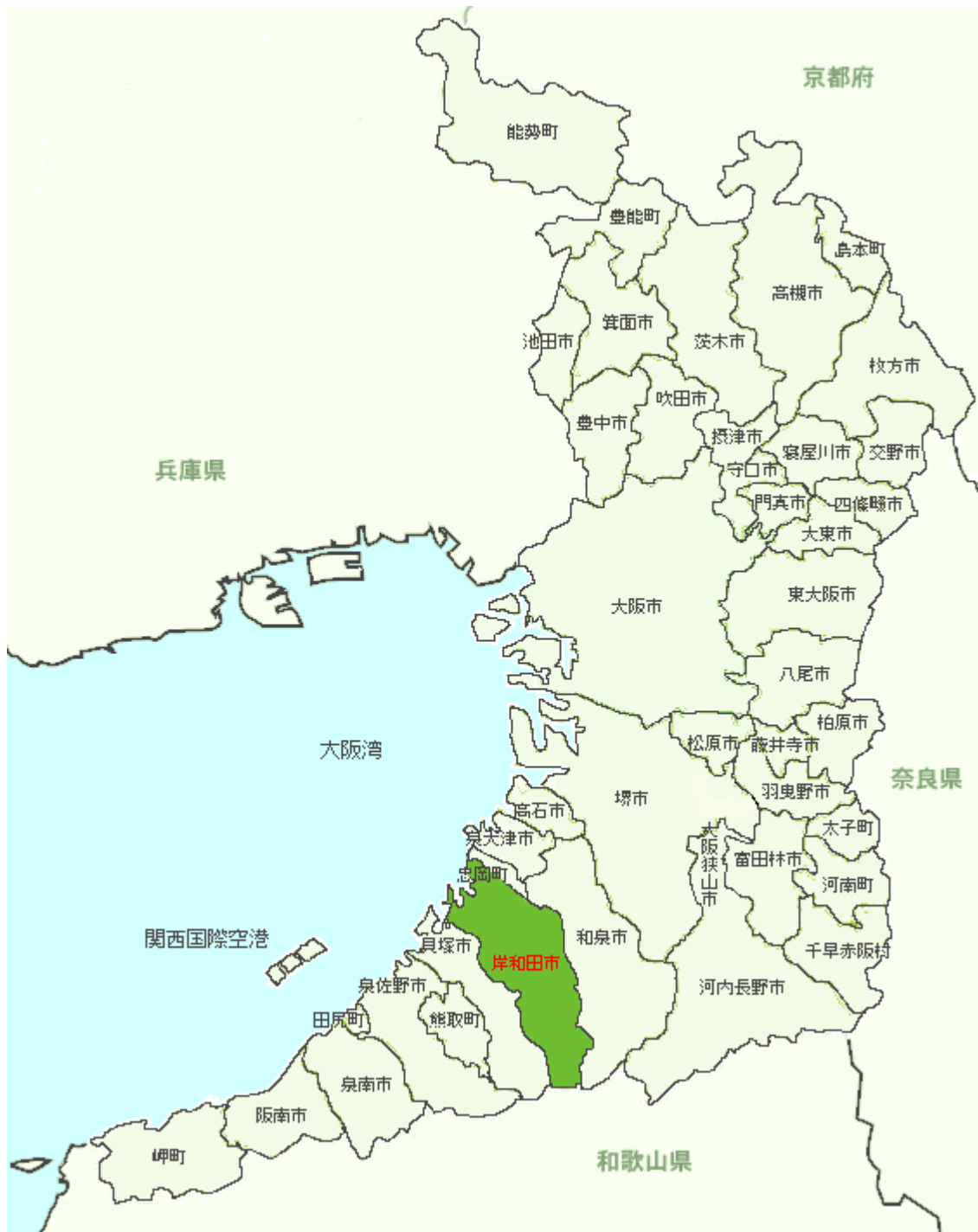
- (1) 概要
 - ア 沿革 P . 4
 - イ 事業年表 P . 6
 - ウ 収集処理経費 P . 7
 - エ 一般廃棄物の排出量 P . 8
- (2) 一般廃棄物の収集と処理
 - ア 一般家庭ごみ
 - (ア) 普通ごみ P . 9
 - (イ) 空きビン・空きカン P . 10
 - (ウ) プラスチック類 P . 11
 - (エ) ペットボトル P . 12
 - (オ) 紙パック P . 13
 - (カ) 廃食用油 P . 14
 - (キ) 粗大ごみ P . 16
 - (ク) 埋立ごみ P . 19
 - (ケ) 小さな金属類 P . 20
 - (コ) 廃蛍光管 P . 21
 - (サ) 廃乾電池 P . 22
 - (シ) 集団回収 P . 23
 - イ 事業系ごみ P . 25
 - ウ リサイクル事業
 - (ア) リサイクルボードの管理事業 P . 26
 - (イ) リユース品（再利用品）無償譲渡会 P . 26
 - (ウ) 家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度 P . 27

エ	美化活動	P.28
オ	家電4品目	P.28
カ	不法投棄	P.29
キ	胞衣・汚物収集運搬	P.31
ク	一般廃棄物(し尿)処理事業	
	(ア)概要	P.32
	(イ)し尿の収集運搬、処理	P.33
	(ウ)天の川浄苑におけるし尿及び浄化槽汚泥処理工程	P.33
(3)	ごみの分別及び資源化	
ア	ごみの分別収集・回収状況	P.34
イ	資源物の行き先	P.35
(4)	年度による対比	P.36
4	害虫駆除	
(1)	害虫駆除薬散布器材の貸出	P.37
(2)	害虫駆除の問い合わせ	P.37
(3)	ゴキブリ・ねずみ駆除薬配布	P.37
5	環境教育の推進	
(1)	環境フェア	P.38
(2)	岸貝クリーンセンターフェア	P.38
(3)	出前講座	P.38
6	市民の環境活動等	
(1)	まちを美しくする市民運動推進協議会	P.39
(2)	岸和田市廃棄物減量等推進員	P.41
(3)	違法屋外広告物追放登録員	P.42
7	その他資料	
	ごみの流れ	P.43
	ごみ処理フロー図	P.44

1 概況

(1) 地勢

岸和田市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、大阪都心から約 20km、関西国際空港から約 10km の距離にあり、市域の面積は 72.32 km²、東西約 7.6km、南北約 17.3km の細長い地形で、おおむね臨海部・平地部・丘陵部・山地部に区分されています。丘陵部から山地部にかけては豊かな自然が残り、岸和田市の特色の一つになっています。

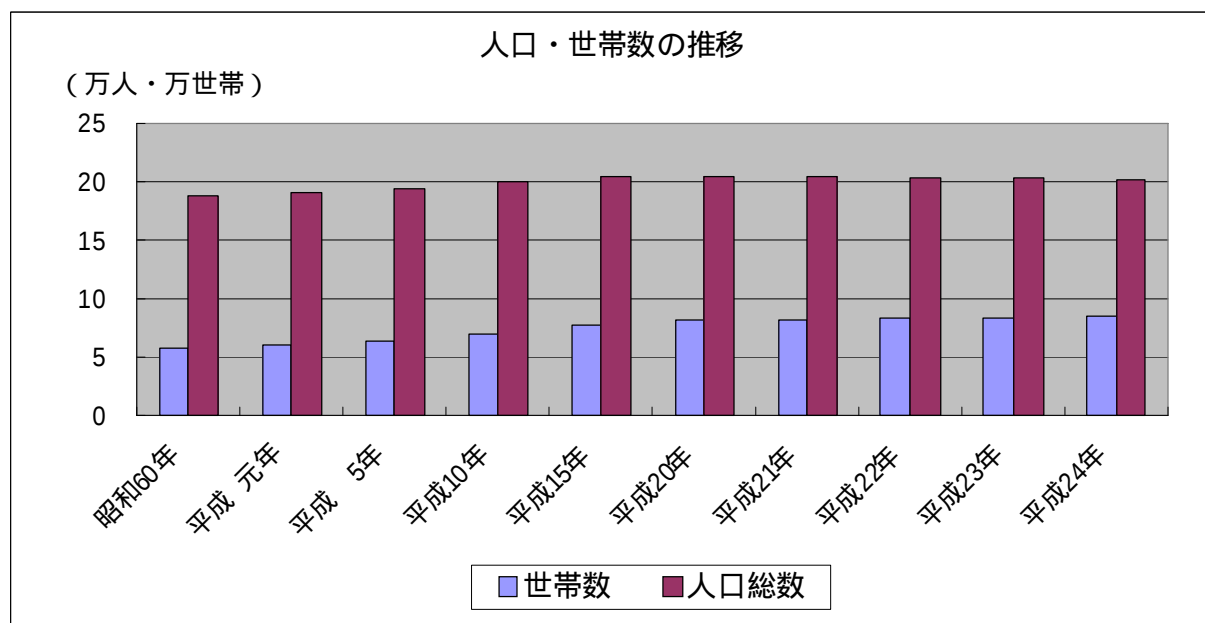


(2) 人口・世帯数の推移

(10 月 1 日現在)

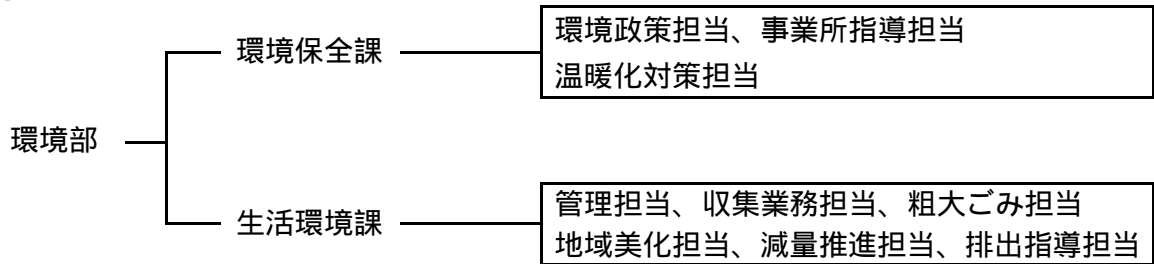
年次	世帯数	人 口		
		男	女	人口総数
昭和 60 年	56,537	91,354	96,007	187,361
平成 元年	59,527	92,890	97,860	190,750
平成 5 年	63,123	93,879	98,798	192,677
平成 10 年	69,864	97,478	102,665	200,143
平成 15 年	76,070	99,141	105,274	204,415
平成 20 年	81,099	98,531	105,452	203,983
平成 21 年	81,880	98,146	105,225	203,371
平成 22 年	82,638	97,912	105,094	203,006
平成 23 年	83,358	97,584	105,003	202,587
平成 24 年	83,991	97,202	104,656	201,858

資料：市民課



2 環境行政

(1) 機構



(2) 関連条例

ア 岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例

本条例は、廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するとともに廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的に制定されています。

本条例には次の内容が定められています。

市長・市民・事業者の責務、発生抑制と減量義務、多量排出事業者の指導、一般廃棄物の処理に関する内容、清潔の保持、廃棄物減量等推進審議会に関することなど。

イ その他の条例

- ・ 岸和田市天の川浄苑設置及び管理条例
- ・ 消毒手数料条例

(3) 業務内容

■ 環境保全課

省略

■ 生活環境課

- (1) 一般廃棄物の収集及び運搬に関すること。
- (2) 一般廃棄物処理業者に関すること。
- (3) ごみの排出、分別、減量化及び再生の啓発及び指導に関すること。
- (4) 再生資源の回収に関すること。
- (5) ごみのリサイクルに関すること。
- (6) 美化活動に関すること。
- (7) 違法屋外広告物の撤去に関すること。
- (8) ねずみ及び衛生害虫の駆除に関すること。
- (9) 衛生作業用具等の貸出及び消毒に関すること。
- (10) 胞衣汚物及び死獣の処理に関すること。
- (11) し尿くみ取りの助成認定に関すること。
- (12) 天の川浄苑の管理に関すること。
- (13) 岸和田市貝塚市清掃施設組合との連絡調整に関すること。
- (14) 岸和田市廃棄物減量等推進審議会に関すること。
- (15) 不法投棄の防止及び対策に関すること。

3 一般廃棄物

(1) 概要

ア 沿革

汚物を生活圏から排除する時代

ごみは、人間が生活する中で必ず発生する物であり、ごみ処理も太古の時代からあったと考えられます。

江戸時代になり、人口集中が進む所では、ごみも集中し、また、経済発展にともなう生活レベルの向上により大量のごみが発生しました。

江戸でも、その処理には相当手を焼いていたようです。「会所」と呼ばれる各町共通の空き地にごみを捨て、これを集めて船で東京湾へ運び埋め立てられていました。この時代のごみ処理は、ごみを生活圏から排除することでした。

汚物を焼却する時代へ

明治中期にペストが大流行したため、汚物処理が重視され、明治 33 年には、「汚物掃除法」が制定され焼却が推奨されました。

戦前、岸和田市の清掃は防疫を主として、衛生組合を設立し管理運営されていました。

昭和 7 年に岸和田市に焼却場が建設され（現中央体育館） 日常的な岸和田市のごみ収集は、焼却場及び市庁舎周辺を戸別収集し、焼却場へ箱車にのせて運んでいたのです。

昭和 39 年には、流木町に処理能力 1 日あたり 60 t の「岸和田市塵芥焼却場」が建設され、旧焼却場が廃止されました。しかし、60 t の焼却量ではすぐに能力不足となり、焼却できない残ごみは、埋立てや現流木墓苑に野積みにする処置がとられました。

昭和 44 年、岸和田市と貝塚市の一部事務組合による「岸和田市貝塚市清掃工場」が建設され、1 日 450 t のごみを焼却できる能力を備えた清掃工場が竣工し、操業を開始しました。

また、昭和 42 年から戸別に収集していたごみをステーション方式へと切り換え、野田町と中町でモデル地域を指定し、市民の協力を得ながら、昭和 48 年には全市域ステーション方式へと移行し、同時に家庭ごみの週 2 回収集（祝日含む）が実施されるようになりました。

ごみ減量化に向けて

ごみ量の増大に伴い、廃棄物処理の問題が大きくクローズアップされ、平成 3 年「再生資源の利用の促進に関する法律」が制定され、廃棄物の再利用の促進やリサイクルシステムの構築の大切さが強調されるようになりました。

本市においても、平成 2 年より、ごみの減量化、資源化に向け、資源ごみ（空きビン・空きカン）の分別収集、廃乾電池の専用回収ボックスの設置（60 ヶ所）を実施しました。平成 3 年 4 月から古紙等集団回収（103 団体）とコンポストの無償貸与（300 基）を実施し、また、9 月より牛乳パックの回収ボックスの設置（13 ヶ所）を実施しました。平成 4 年 6 月より廃食用油の回収を実施しました。

循環型社会を推進するため、平成 5 年に環境部リサイクル課を設置し、ごみの減量化、再資源化に向けての啓発事業を進めてきました。11 月に「廃棄物減量等推進審議会」を設置し、翌年 1 月に「廃棄物減量等推進員」制度を発足させ、地域でのごみ減量化、リサイクルに向け、活動を推進しました。

さらに、平成 6 年 6 月から EM バケツのモニターを開始し、11 月に「リサイクル展示室」を開設しました。また、毎年 11 月中旬に、環境フェアを開催し、ごみの減量化、リサイクル意識の高揚等に取り組んできました。

平成 5 年 3 月には「岸和田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を全部改正し、「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例」が制定され、平成 8 年 3 月にその一部を改正し、事業系ごみの減量化に取り組んでいます。

平成 7 年 6 月、循環型の新しいリサイクル社会の構築をめざす「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」（以下「容器包装リサイクル法」という。）が

制定されました。この法律は、家庭から一般廃棄物として排出される容器包装廃棄物の回収リサイクルシステムを確立するため、「消費者が分別排出」し、「市町村が分別収集」し、「事業所が再商品化（リサイクル）」するという各々の役割分担を規定しています。

本市では、行政と生協やスーパーなど流通業界が協力してペットボトルを回収する実験を行いました。官と民が協力して回収を行う取り組みは全国で初めての試みでありました。実験は平成 9 年 3 月まで行われ、「容器包装リサイクル法」が施行された平成 9 年 4 月以降はこの「岸和田方式」を本格稼働して今日に至っています。

平成 12 年 4 月「容器包装リサイクル法」の完全施行に伴い、モデル地域においてプラスチック類の分別収集を実施し、平成 14 年 3 月市内全域で実施しました。

環境への負荷の低減に向けて

平成 12 年 5 月に成立した「循環型社会形成推進基本法」の趣旨に即応し、廃棄物減量等推進審議会において、廃棄物の減量化、リサイクル並びに環境への負荷が低減される社会の実現に向け「粗大ごみの収集運搬手数料」及び「一般家庭ごみ」について、「ごみの収集の有料化」を検討し、平成 14 年 7 月 1 日から一般家庭ごみの一部、粗大ごみの有料化（シール制）を導入し、同時に無色透明・白色半透明袋の排出としました。

平成 13 年 4 月からは「特定家庭用機器再商品化法」が施行され、原則として家電 4 品目（洗濯機・エアコン・冷蔵庫・テレビ）は、家電小売店で引取りとなりました。また、本市でも収集及び運搬に係る手数料を設定し、収集しています。

平成 14 年 5 月から埋立ごみの実験回収を行い、翌年 4 月より市内全域で埋立ごみの回収を実施しました。

不法投棄の抑制と啓発のため、平成 14 年 10 月に不法投棄禁止ポスターを作製し、各町会等に約 1,600 枚を有料で配布し、平成 17 年 3 月には、全公用車（約 270 台）にマグネット式啓発ポスターを貼付け、パトロールの強化に努めました。また、不法投棄を重点的に監視するため、平成 16 年に不法投棄監視カメラを設置しました。

平成 18 年 11 月より一部事務組合による「岸和田市貝塚市クリーンセンター」へ試験的に搬入を開始しました。（1 日あたり焼却能力 531 t、粗大ごみ処理能力 41 t、資源化処理能力 32.6 t）

平成 19 年 6 月より、分別を細分化するため、町会の協力により、小さな金属類の回収を実施しました。

平成 21 年 6 月、市議会において「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例の一部改正」が可決され、平成 22 年 4 月から一般家庭普通ごみの有料指定袋制が始まりました。

今後のごみ処理に向けて

資源はいずれ枯渇するもの、地球温暖化もいずれおとずれるもの、遠い先のことと安易に思っていたが、すぐそこに迫ってきていると実感することが多くなってきました。

ごみを分別して、資源に再生することが重要な課題となってきました。また、焼却にともない発生するダイオキシンや、最終処分地にも限りがあり、これらへの対策が重要な課題となっています。みんなで力を合わせ、地球にやさしい環境作りを進めることが大切です。

イ 事業年表

年度	月	事業
昭和 7 年		岸和田市に焼却場建設（現中央体育館）
昭和 39 年		「岸和田市塵芥処理場」建設（処理能力・60 t / 日）
昭和 42 年		戸別に収集していたごみをステーション方式へ切り変える （野田町と中町をモデル地区に指定）
昭和 44 年		一部事務組合「岸和田市貝塚市清掃工場」建設（処理能力・450 t / 日）
昭和 48 年		全市域の収集方法を現在のステーション方式へ移行 家庭ごみの週 2 回収集と祝日収集が実施される
昭和 53 年	6 月	「まちを美しくする市民運動推進協議会」が結成
平成 元年	4 月	電話受付による粗大ごみの個別収集開始
平成 2 年		資源ごみ（空きビン・空きカン）の分別収集開始 廃乾電池の専用回収ボックスの設置（60 ヶ所）
平成 3 年		「再生資源の利用の促進に関する法律」が制定
	4 月	古紙等集団回収（103 団体）
	9 月	牛乳パック回収ボックス設置（13 ヶ所）
平成 4 年	6 月	廃食用油の回収実施
平成 5 年	11 月	環境部リサイクル課を設置 「廃棄物減量等推進審議会」を設置
平成 6 年	1 月	「廃棄物減量等推進員」制度を発足
	6 月	E M バケツのモニター開始
	11 月	「リサイクル展示室」を設置
平成 7 年	6 月	「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律」制定 （容器包装リサイクル法）
平成 8 年	3 月	「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例」改正
平成 9 年	12 月	天然ガスを燃料とするごみ収集車（1 台）を使用
平成 12 年	4 月	「容器包装リサイクル法」の完全施行に伴いモデル地区において、プラスチック類の分別収集を実施
平成 13 年	4 月	「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」施行
平成 14 年	3 月	プラスチック類の分別収集を市内全域実施
	4 月	大阪府より大阪府屋外広告物条例第 20 条の 2 に基づく簡易除却権限の一部委任を受ける
	5 月	モデル地区（市内 5 町会）において埋立ごみの実験回収
	7 月	一般家庭ごみの一部、粗大ごみの有料化
	10 月	不法投棄禁止ポスターを製作
平成 15 年	4 月	市内全域で埋立ごみの回収を実施
	8 月	「違法屋外広告物追放登録員」制度を設置
平成 17 年	3 月	不法投棄防止対策（全公用車約 270 台にマグネット式ポスター貼付）強化
平成 18 年	4 月	粗大ごみの「ふれあい収集」実施
	6 月	市職員による不法投棄防止夜間パトロールを実施
	11 月	一部事務組合「岸和田市貝塚市クリーンセンター」試運転・一般搬入開始 （焼却施設処理能力・531 t / 日、粗大ごみ施設処理能力・41 t / 日、 資源化施設処理能力・32.6 t / 日）
平成 19 年	4 月	岸和田市貝塚市クリーンセンター本格稼働
	6 月	市内全域で小さな金属類の回収を実施
平成 20 年	4 月	環境整備課と廃棄物減量推進課が統合 課名を生活環境課に変更
平成 22 年	4 月	一般家庭普通ごみの有料指定袋制を実施
平成 23 年	6 月	家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度を実施

ウ 収集処理経費

● 1t当りの収集処理経費

$$\left[\frac{\text{収集経費 } 15 \text{ 億 } 3,797 \text{ 万 } 3,039 \text{ 円}}{[\text{収集量}] \text{ 一般家庭ごみ } 43,823\text{t} - \text{直接搬入量 } 2,148\text{t}} = 1\text{t当りの収集経費 } 36,904 \text{ 円} \right]$$

$$\left[\frac{\text{岸貝分担金 } 22 \text{ 億 } 4,277 \text{ 万 } 6,000 \text{ 円} + \text{処理委託費 } 1 \text{ 億 } 700 \text{ 万 } 9,722 \text{ 円}}{\text{総排出量 } [\text{収集量}] 41,675\text{t} + \text{許可 } 24,129\text{t} + \text{直接搬入 } 6,175\text{t}} = 1\text{t当りの処理経費 } 32,645 \text{ 円} \right]$$

● 1人当りの収集処理経費

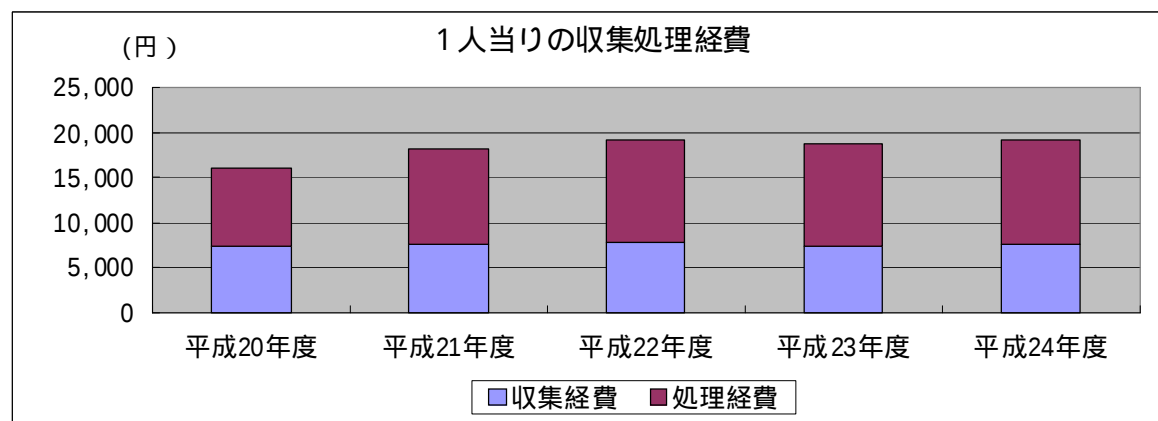
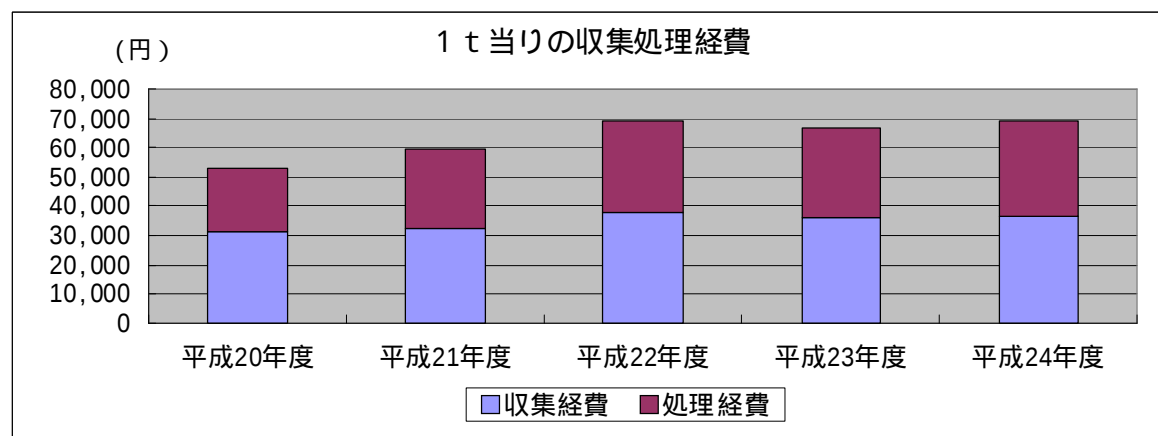
$$\left[\frac{\text{収集経費 } 15 \text{ 億 } 3,797 \text{ 万 } 3,039 \text{ 円}}{\text{平成 } 24 \text{ 年 } 10 \text{ 月 } 1 \text{ 日現在の人口 } 201,858 \text{ 人}} = 1\text{人当りの収集経費 } 7,619 \text{ 円} \right]$$

$$\left[\frac{\text{岸貝分担金 } 22 \text{ 億 } 4,277 \text{ 万 } 6,000 \text{ 円} + \text{処理委託費 } 1 \text{ 億 } 700 \text{ 万 } 9,722 \text{ 円}}{\text{平成 } 24 \text{ 年 } 10 \text{ 月 } 1 \text{ 日現在の人口 } 201,858 \text{ 人}} = 1\text{人当りの処理経費 } 11,641 \text{ 円} \right]$$

年度別収集処理経費

(単位：円)

		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
1 t 当り	収集経費	30,883	32,332	37,576	35,873	36,904
	処理経費	22,432	27,443	31,554	31,284	32,645
	合計	53,315	59,775	69,130	67,157	69,549
1 人当り	収集経費	7,329	7,611	7,806	7,523	7,619
	処理経費	8,735	10,498	11,300	11,227	11,641
	合計	16,064	18,109	19,106	18,750	19,260



エ 一般廃棄物の排出量

岸和田市貝塚市クリーンセンター、及びプラスチック類の中間処理施設への搬入量に集団回収等の地域回収を含んだ総排出量（項目17、岸和田市の一般廃棄物 総排出量）です。

(単位:t)

区分/年度		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
人 口 (人) (10月1日現在)		203,983	203,371	203,006	202,587	201,858
世 帯 数 (10月1日現在)		81,099	81,880	82,638	83,358	83,991
一般家庭ごみ	1. 普通ごみ	34,444	34,569	28,483	29,386	29,155
	ア 直営	3,201	3,208	2,797	2,852	2,758
	イ 委託	31,243	31,361	25,686	26,534	26,397
	2. 空きビン・空きカン	1,976	1,995	1,928	1,804	1,716
	ア 直営	161	163	156	156	149
	イ 委託	1,815	1,832	1,772	1,648	1,567
	3. プラスチック類	3,019	2,939	3,252	3,134	3,057
	ア 直営	268	251	273	260	248
	イ 委託	2,751	2,688	2,979	2,874	2,809
	4. ペットボトル	100	87	85	81	88
	ア 直営	100	87	84	76	81
	イ 委託			1	5	7
	5. 紙パック (委託)	14	13	15	16	15
	6. 廃食用油 (委託)	19	22	18	18	16
	7. 粗大ごみ	424	374	346	346	343
	ア 直営(可燃性)	229	222	218	224	222
	イ 直営(金属)	195	152	128	122	121
	8. 埋立ごみ (直営)	224	242	218	221	217
	9. 小さな金属 (直営)	44	47	40	39	40
	10. 廃蛍光管 (直営)	16	16	18	15	15
	11. 廃乾電池 (直営)	20	21	20	21	22
事業系ごみ	12. 直接搬入量	1,312	1,564	1,864	2,004	2,148
	13. 集団回収(新聞・雑誌・ダンボール等)	8,107	7,547	7,750	7,403	6,991
	A. 一般家庭ごみ 計(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13)	49,719	49,436	44,037	44,488	43,823
	比 率(A÷17)	62.59%	63.54%	60.57%	61.19%	60.88%
	14. 許可業者搬入量	24,814	23,798	24,488	24,470	24,129
	a ア 普通ごみ	24,445	23,400	23,996	23,984	23,621
	b イ ビン・カン	134	134	115	112	98
	ウ 粗大ごみ	235	264	377	374	410
	可燃性	195	222	323	331	370
	不燃性(金属・セトモノ)	40	42	54	43	40
事業系ごみ	f 15. 直接搬入量	4,898	4,565	4,174	3,748	4,027
	B. 事業系ごみ 計(14+15)	29,712	28,363	28,662	28,218	28,156
	比 率(B÷17)	37.41%	36.46%	39.43%	38.81%	39.12%
16. 清掃工場搬入量 計(A+B) - (3+5+6+13)		68,272	67,278	61,664	62,135	61,899
17. 総排出量 (A+B)		79,431	77,799	72,699	72,706	71,979
18. 1人1日当りの排出量 (17÷人口÷日数) g		1,067	1,048	981	983	977
19. 年間1人当り収集処理経費 (円)		16,064	18,109	19,106	18,750	19,260

a 可燃ごみ b 資源ごみ c 粗大ごみ d 不燃ごみ e その他ごみ f 直接搬入ごみ g 集団回収

(2) 一般廃棄物の収集と処理

ア 一般家庭ごみ

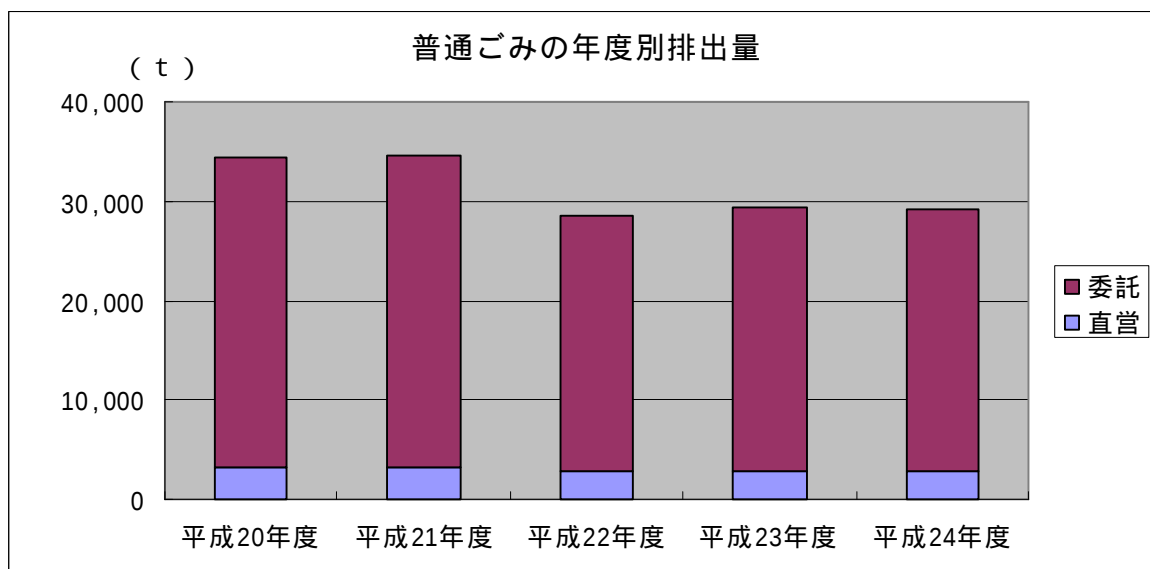
(ア) 普通ごみ

平成 22 年 4 月から有料指定袋 (10ℓ、20ℓ、45ℓ) を使用し排出された普通ごみを、直営及び委託業者 9 社が、市内全域を週 2 回のステーション方式で収集しています。

普通ごみの年度別排出量

(単位 : t)

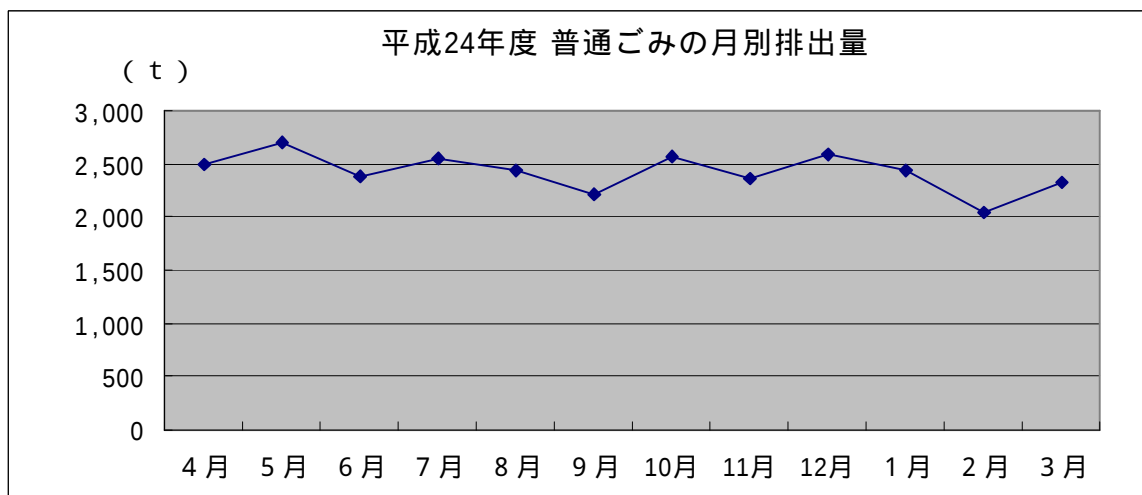
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
直営	3,201	3,208	2,797	2,852	2,758
委託	31,243	31,361	25,686	26,534	26,397
総排出量	34,444	34,569	28,483	29,386	29,155



平成 24 年度 普通ごみの月別排出量

(単位 : t)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,501	2,706	2,385	2,543	2,445	2,219	2,565	2,370	2,596	2,445	2,047	2,333	29,155



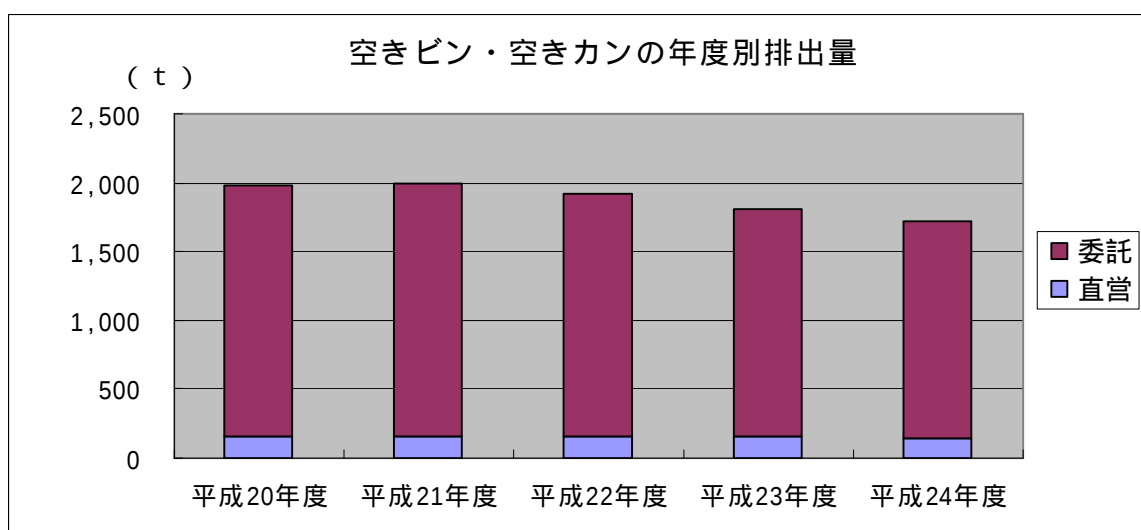
(イ) 空きビン・空きカン

無色透明・白色半透明袋で排出された空きビン・空きカン、直営及び委託業者9社が、市内全域を週1回（祝日の場合休み）のステーション方式で収集しています。

排出量が年々減少している原因には、ペットボトルの普及やアルミ缶が有価物として、団体または個人で集めていることが考えられます。

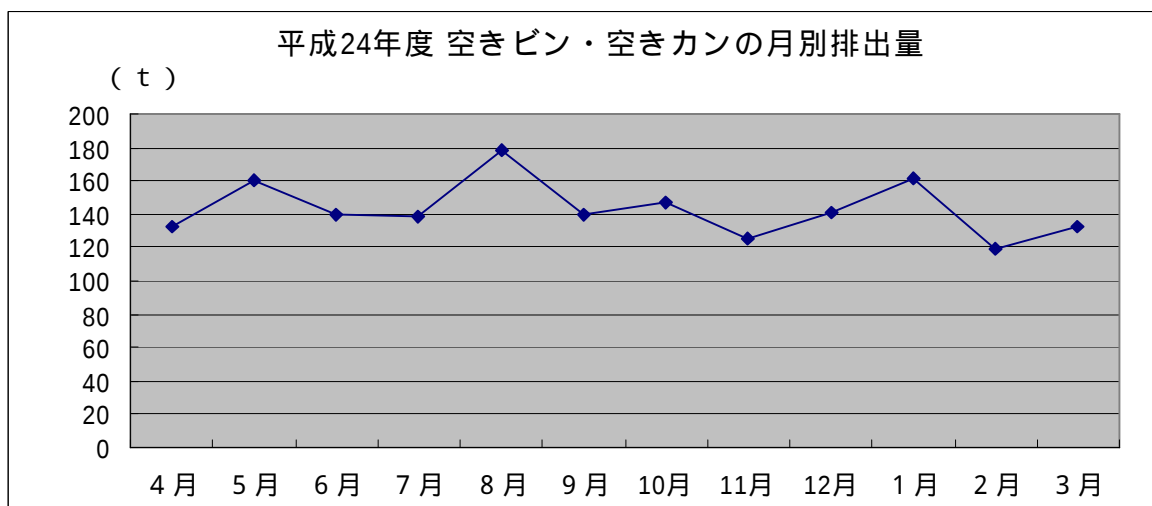
空きビン・空きカンの年度別排出量 (単位：t)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
直営	161	163	156	156	149
委託	1,815	1,832	1,772	1,648	1,567
総排出量	1,976	1,995	1,928	1,804	1,716



平成24年度 空きビン・空きカンの月別排出量 (単位：t)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
132	160	140	139	178	140	147	125	141	162	119	133	1,716

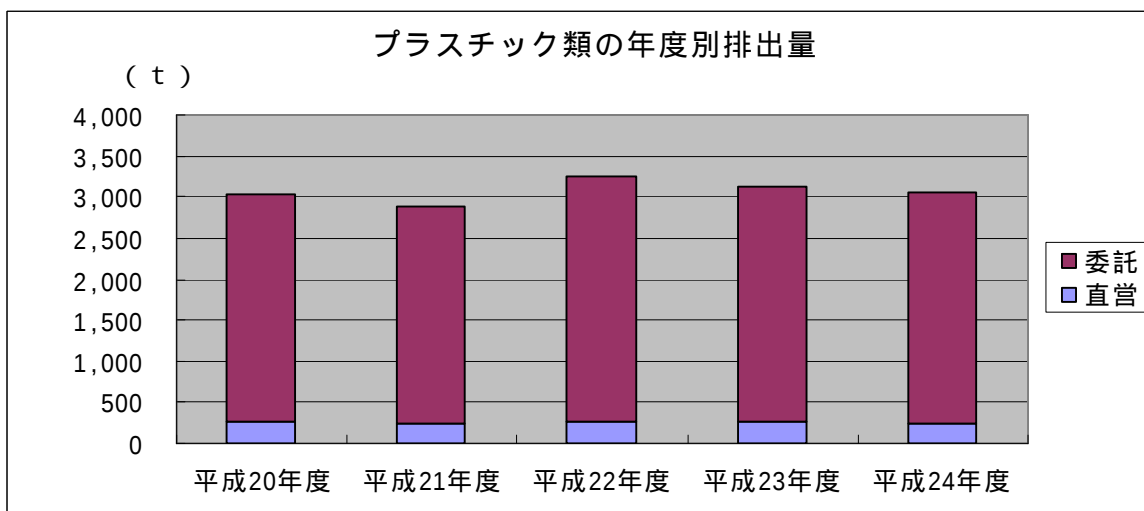


(ウ) プラスチック類

「容器包装リサイクル法」の完全施行に伴い、モデル地区の収集を経て、平成 14 年 3 月から市内全域を直営及び委託業者 9 社が、無色透明・白色半透明袋で排出されたプラスチック類を、週 1 回のステーション方式で収集しています。

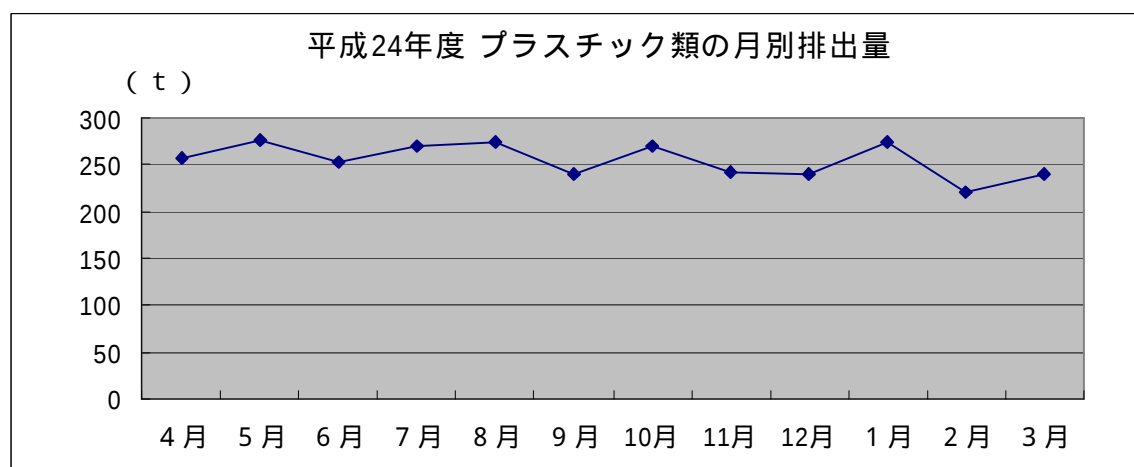
プラスチック類の年度別排出量 (単位：t)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
直営	268	251	273	260	248
委託	2,751	2,688	2,979	2,874	2,809
総排出量	3,019	2,939	3,252	3,134	3,057



平成 24 年度 プラスチック類の月別排出量 (単位：t)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
258	276	252	271	274	239	271	242	239	274	220	241	3,057



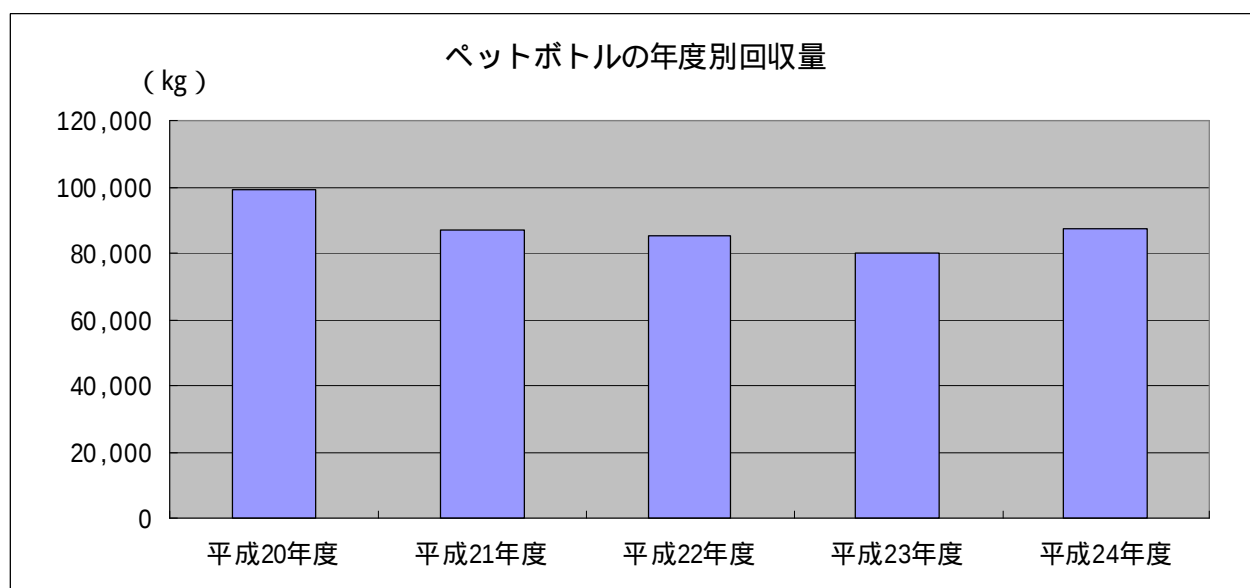
(エ) ペットボトル

スーパー等の流通業界の協力のもと、それぞれに拠点を設けて直営で回収を行い、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入しています。また、それと並行して、平成 18 年 11 月から市内一部の町会に協力をお願いし、モデル地区を設け、空きビン・空きカンとの隔週ステーション方式による収集を行っています。(一部委託区域を含む)

ペットボトルの月別・年度別回収量

(単位: kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 20 年度	7,450	7,560	7,760	10,090	11,580	11,400	9,570	7,110	7,660	6,790	5,720	6,890	99,580
平成 21 年度	6,770	7,160	7,950	9,600	10,810	8,640	7,680	6,390	5,820	5,260	4,760	6,190	87,030
平成 22 年度	6,160	7,170	7,680	8,770	10,880	10,120	7,360	5,940	5,490	5,640	4,890	5,180	85,280
平成 23 年度	5,580	6,410	6,610	8,790	10,690	8,920	7,140	5,810	5,520	5,180	4,620	5,140	80,410
平成 24 年度	6,330	7,030	7,710	9,500	11,650	9,690	8,080	5,960	5,440	5,870	5,010	5,340	87,610



ペットボトル回収ボックス設置場所

NO	設置場所	NO	設置場所
1	イズミヤ西岸和田店	16	スーパーナショナル春木店
2	オークワ岸和田店	17	八阪町会館
3	オークワ岸和田八田店	18	八阪町杉乃木保育園横
4	コープ久米田店	19	都健幸会クリニック横(旧下松クリニック)
5	スーパーサンエー上松店	20	ジョリーパスタ裏
6	スーパーサンエー久米田店	21	岸和田市民病院
7	スーパーサンエー東岸和田店	22	保健センター
8	スーパーサンエーフード田中店	23	岸和田市役所
9	スーパーサンエー山直店	24	天神山地区公民館
10	ダイコー岸和田店	25	山直市民センター
11	イオン東岸和田店	26	山滝地区公民館
12	長崎屋岸和田店	27	光明地区公民館
13	ヤオエー真上店	28	山滝支所
14	フードやましろ	29	環境事務所
15	ライフコーポレーション和泉大宮店		

(オ) 紙パック

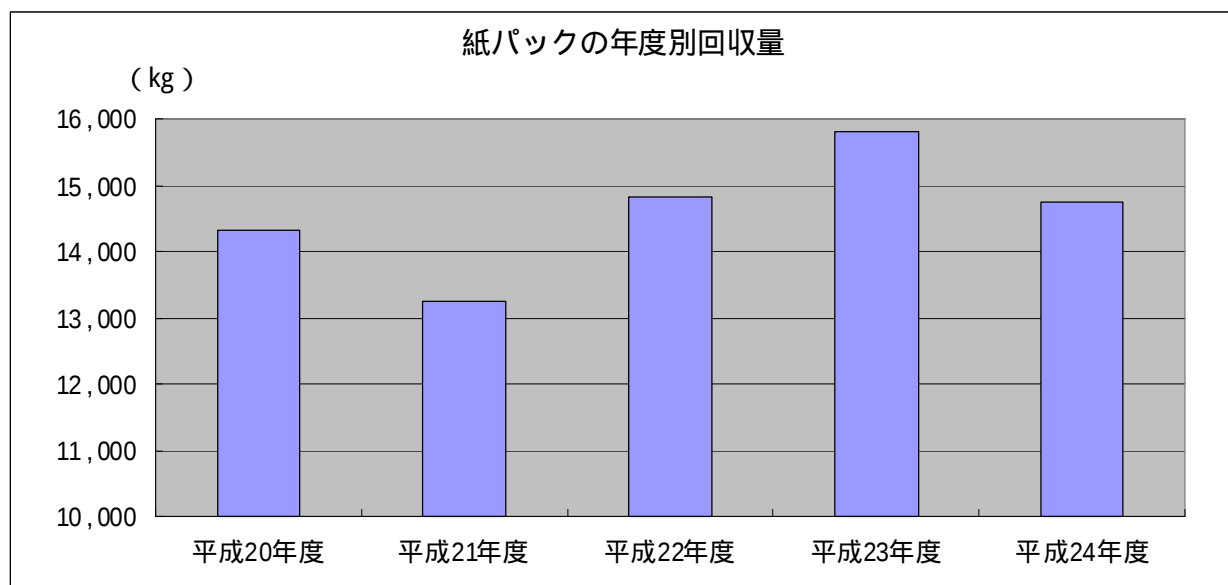
ごみの減量及び森林資源の保護を図るために、市内のスーパーや公共施設等の協力により専用回収ボックスを設置していただいています。本市が委託により回収した量は下表のとおりです。

紙パックの月別・年度別回収量

(単位：kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	1,100	1,610	960	1,180	1,660	1,330	1,490	1,040	1,000	1,210	910	830	14,320
平成21年度	1,020	1,230	1,100	1,300	1,310	1,170	1,320	960	950	1,130	840	920	13,250
平成22年度	1,280	1,090	1,210	1,710	1,330	1,410	1,550	1,010	1,240	1,050	870	1,080	14,830
平成23年度	1,440	1,200	1,190	1,730	1,420	1,730	1,210	1,160	1,400	1,190	880	1,280	15,830
平成24年度	1,070	1,150	1,500	1,250	1,690	1,330	1,210	1,350	1,030	1,050	870	1,240	14,740

紙パックの年度別回収量



紙パック回収ボックス設置場所

NO	設置場所	NO	設置場所	NO	設置場所
1	イズミヤ西岸和田店	9	スーパーサンエー山直店	17	フードやましろ
2	オークワ岸和田店	10	スーパーナショナル春木店	18	女性センター
3	オークワ岸和田八田店	11	ダイコー岸和田店	19	大芝地区公民館
4	コープ久米田店	12	イオン東岸和田店	20	中央地区公民館
5	スーパーサンエー上松店	13	長崎屋岸和田店	21	山滝地区公民館
6	スーパーサンエー久米田店	14	ヤオエー真上店	22	保健センター
7	スーパーサンエー東岸和田店	15	ライフコーポレーション和泉大宮店	23	環境事務所
8	スーパーサンエーフード田中店	16	消費者センター(産業会館内)		

(カ) 廃食用油

各町会や廃棄物減量等推進員（P.41 参照）の協力を得て集められた廃食用油は、リマテック㈱（旧社名 近畿環境興産㈱）に回収を委託し、セメント製造の補助燃料として再利用されています。

廃食用油の年度別回収量

（単位：kg）

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
拠点回収量	15,960	17,210	14,980	13,840	13,530
常設回収量	3,510	4,270	2,700	4,020	2,460
総回収量	19,470	21,480	17,680	17,860	15,990

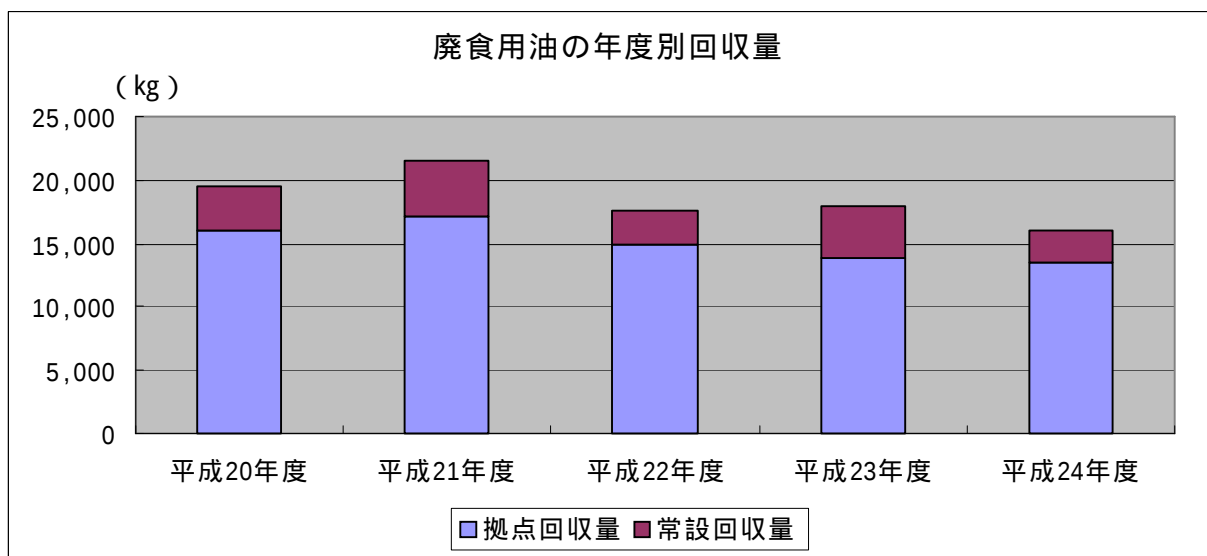
平成 24 年度 廃食用油回収事業拠点回収内訳

（単位：kg）

実施校区名	回 収 量			設置箇所
	上半期	下半期	年 間	
太田・旭	420	540	960	8
新条・八木北	620	470	1,090	7
山直北・城東	680	610	1,290	9
大宮・山直南	700	610	1,310	10
光明・天神山	320	260	580	6
中央・浜・城内	620	630	1,250	17
朝陽・東光	990	550	1,540	9
春木・大芝・城北	1,200	910	2,110	13
八木南	580	430	1,010	7
常盤	740	390	1,130	13
修斉・東葛城	350	310	660	10
八木	280	320	600	7
計	7,500	6,030	13,530	116

平成 24 年度 廃食用油回収事業常設回収内訳 (単位: kg)

町 名	回収量	収集回数	設置箇所
1. 中北町	0	0	1
2. 南上町 1 丁目	330	3	1
3. 葛城町	0	0	1
4. 三田町	467	5	1
5. 三田町小倉	177	4	1
6. 加守町 3 丁目	0	0	1
7. 内畑町下出	133	1	1
8. 内畑町沢峰	0	0	1
9. 内畑町西堂	89	1	1
10. 牛滝町	0	0	1
11. 上野町東	0	0	1
12. 府営並松住宅	0	0	1
13. 西之内町	170	1	1
14. 上・下大沢町	0	0	1
15. 内畑町辻堂	179	1	1
16. 内畑町山口	179	1	1
17. 環境事務所	736	1	1
計	2,460	18	17



(キ) 粗大ごみ

一般家庭から出る粗大ごみは、専用電話、FAX、電子メールで申し込みを受付け、品物に該当する金額の「粗大ごみ処理券」を貼って、屋外の指定場所に排出をお願いする、予約制有料戸別収集(平成 14 年 7 月以降)となっており、市内全域を直営で収集しています。

また平成 18 年 4 月より、一人暮らしの高齢者(65 歳以上)や一人暮らしの障害者の方などを対象に、職員が直接出向いて屋内から粗大ごみの運び出しをサポートする「ふれあい収集」を開始し、平成 22 年 4 月には、高齢者のみで構成されている世帯、障害者のみで構成されている世帯も含め対象が拡大されました。

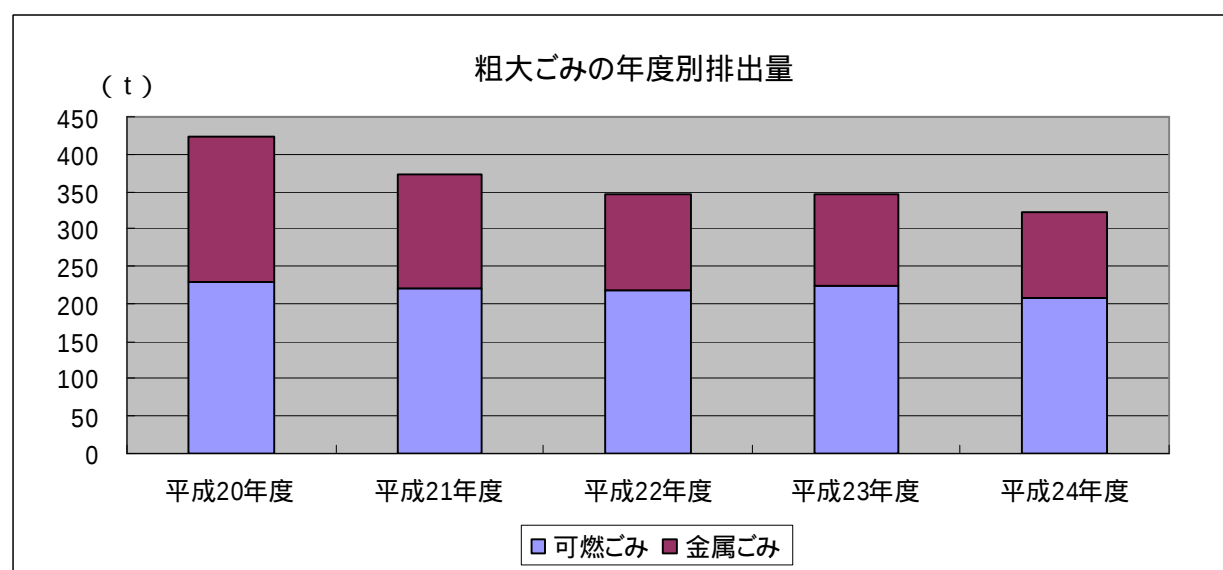
収集できない品物には、タイヤ・バッテリー・建築廃材・消火器・ガスボンベ・危険物・処理が困難なもの・事業所から出るごみ・家電リサイクル法対象品目(エアコン・テレビ・冷蔵庫及び冷凍庫・洗濯機及び衣類乾燥機)・パソコン(平成 15 年 10 月より製造メーカーリサイクル義務)等があります。

料金区分	品目区分
500 円	45 ℓ 袋に収まる量を基準に袋または箱に詰めて 1 個
	3 辺の長さの合計が 3 ℓ 以内のもの 1 個
1,000 円	上記を超えるもの 1 個

粗大ごみの年度別排出量

(単位：t)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
可燃ごみ	229	222	218	224	222
金属ごみ	195	152	128	122	121
総排出量	424	374	346	346	343

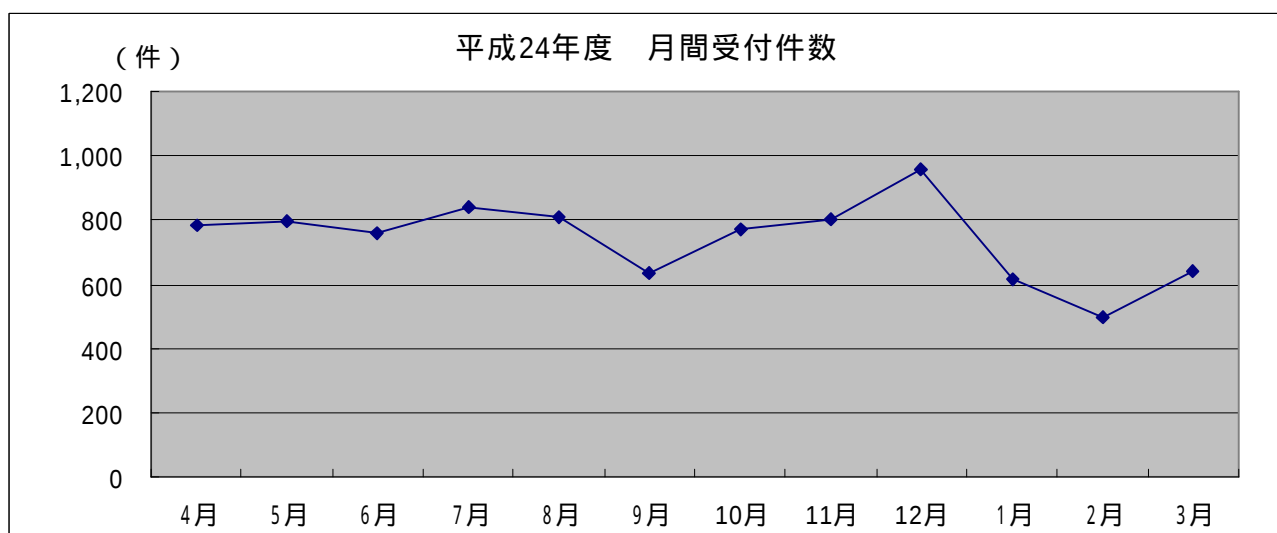
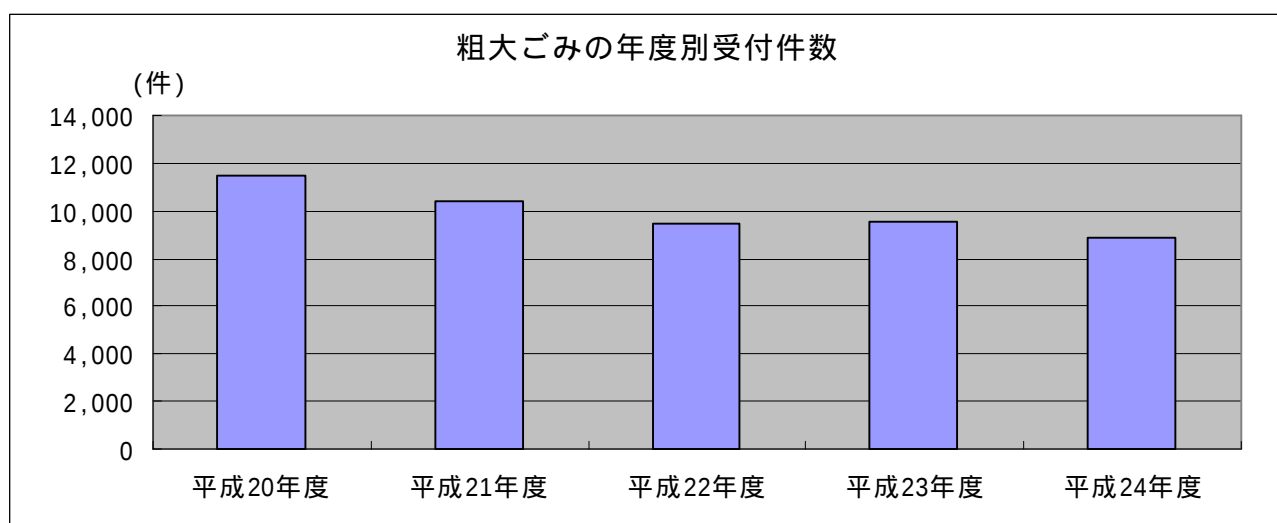


粗大ごみの月別・年度別受付件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 20 年度	982	1,020	870	1,111	845	827	976	957	1,533	636	717	893	11,457
平成 21 年度	874	822	907	873	881	790	854	895	1,201	590	621	964	10,380
平成 22 年度	765	768	782	821	821	761	573	931	1,207	565	593	812	9,485
平成 23 年度	701	848	880	876	843	710	845	872	1,075	578	551	741	9,520
平成 24 年度	782	797	761	838	807	633	772	799	955	613	500	640	8,897

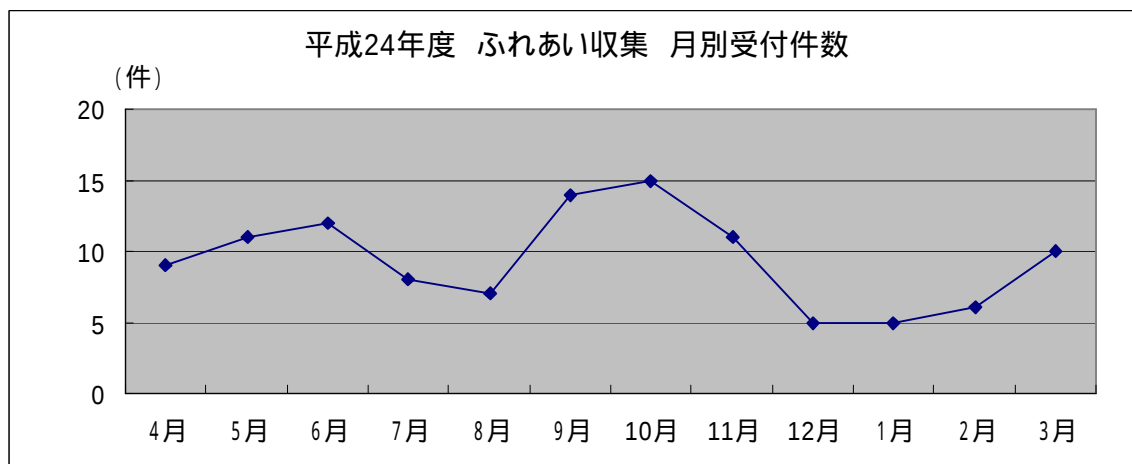
ふれあい収集を含む



粗大ごみ ふれあい収集 月別・年度別受付件数

(単位:件)

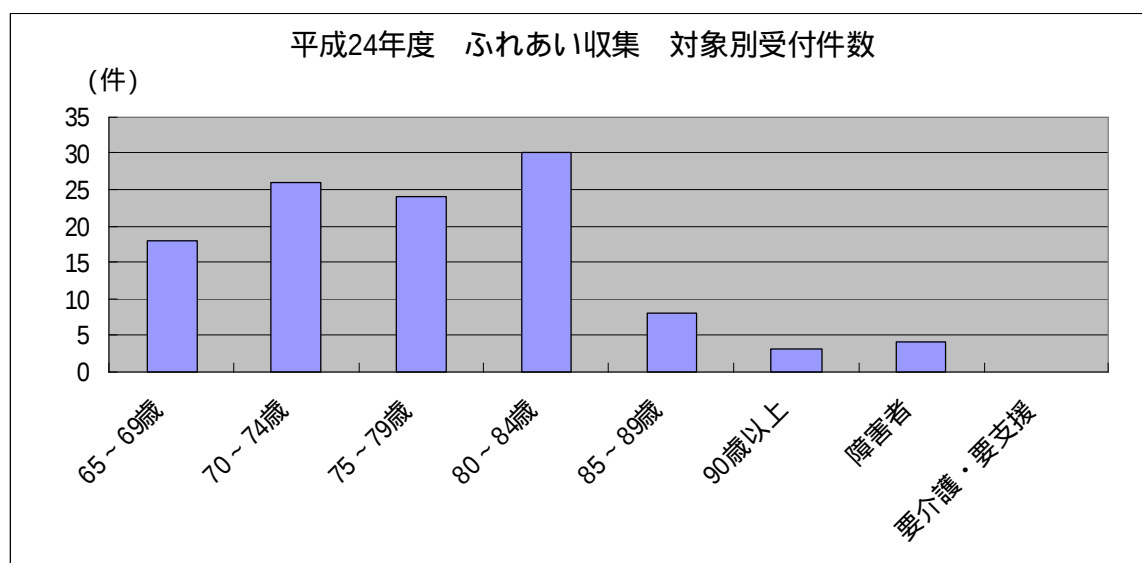
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	6	6	8	12	6	5	10	7	8	4	9	10	91
平成21年度	7	9	8	5	10	10	22	13	5	7	3	9	108
平成22年度	10	4	13	8	9	5	5	12	7	1	3	7	86
平成23年度	12	6	3	11	6	5	2	6	5	4	6	2	68
平成24年度	9	11	12	8	7	14	15	11	5	5	6	10	113



ふれあい収集 対象別受付件数

(単位:件)

	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	障害者	要介護 要支援	合計
平成20年度	12	16	14	21	12	6	10	0	91
平成21年度	9	32	20	17	11	4	14	1	108
平成22年度	13	14	26	13	7	4	6	3	86
平成23年度	9	20	16	15	4	0	4	0	68
平成24年度	18	26	24	30	8	3	4	0	113



(ク) 埋立ごみ

平成 14 年 5 月からモデル地区での実験回収を経て、平成 15 年 4 月から市内全域で、埋立ごみの分別回収を実施しました。

回収方法は各町会の協力により 2 ケ月に 1 度の日曜日に、町会館、集会所等の指定された場所のコンテナに排出してもらい、月曜日に直営で回収し、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入しています。その後、大阪沖埋立処分場に運ばれます。

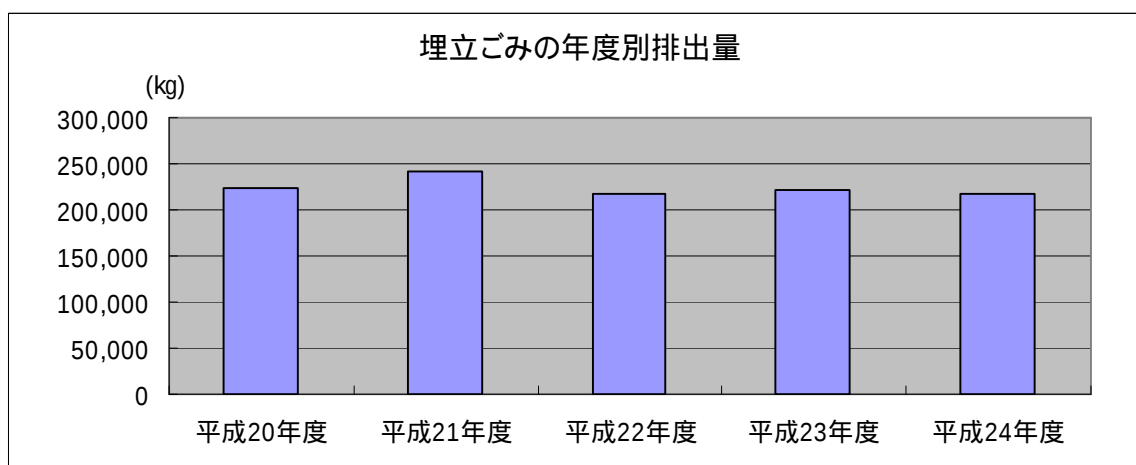
対象品目は茶碗・皿等の陶器類、板ガラス、グラス類、化粧品のビン、電球等です。

埋立ごみの年度別排出量

(単位：kg)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
直営	223,960	241,680	217,340	221,150	216,810

埋立ごみの年度別排出量

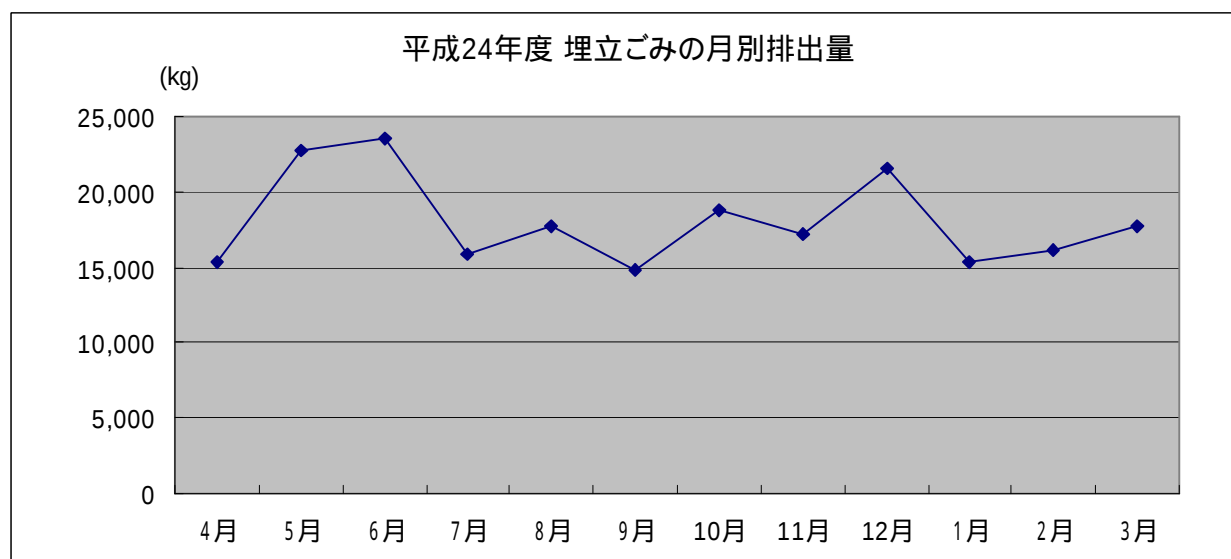


平成 24 年度 埋立ごみの月別排出量

(単位：kg)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
15,360	22,720	23,540	15,880	17,730	14,870	18,740	17,260	21,600	15,280	16,120	17,710	216,810

平成24年度 埋立ごみの月別排出量



(ケ) 小さな金属類

平成 18 年 8 月からモデル地区での実験回収を経て、平成 19 年 6 月から市内全域で（一部の町会を除く）小さな金属類の分別回収を実施しました。

回収方法は、埋立ごみと同じ日に別のコンテナに排出してもらい、翌日に直営で回収し、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入した後、資源化されています。

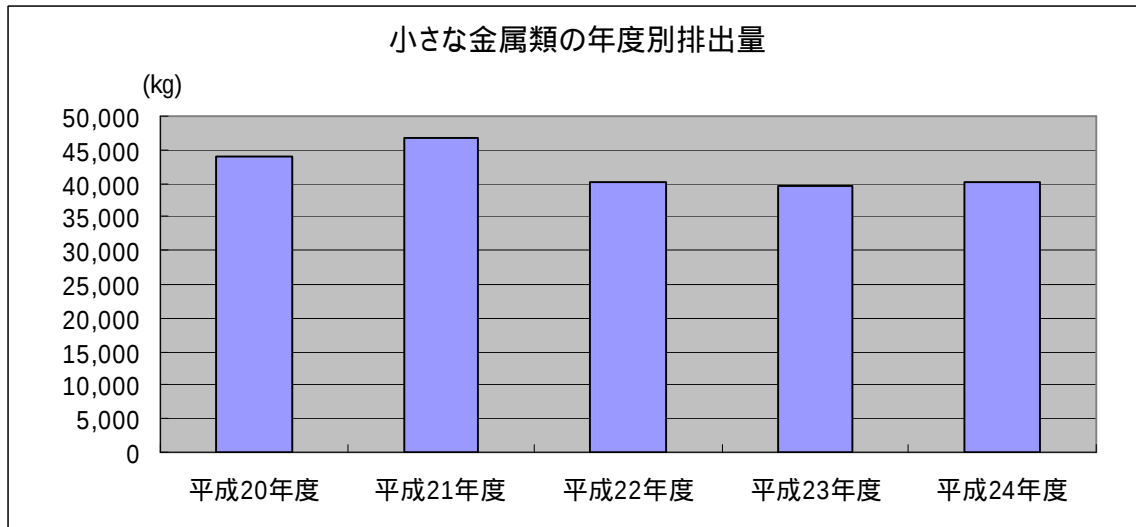
対象品目は、鍋・ヤカン・フライパン・傘・スチールハンガーと長さが 25 cm 以下の金属類（電化製品は除く）です。

小さな金属類の年度別排出量

（単位：kg）

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
直営	44,010	46,750	40,310	39,460	40,070

小さな金属類の年度別排出量

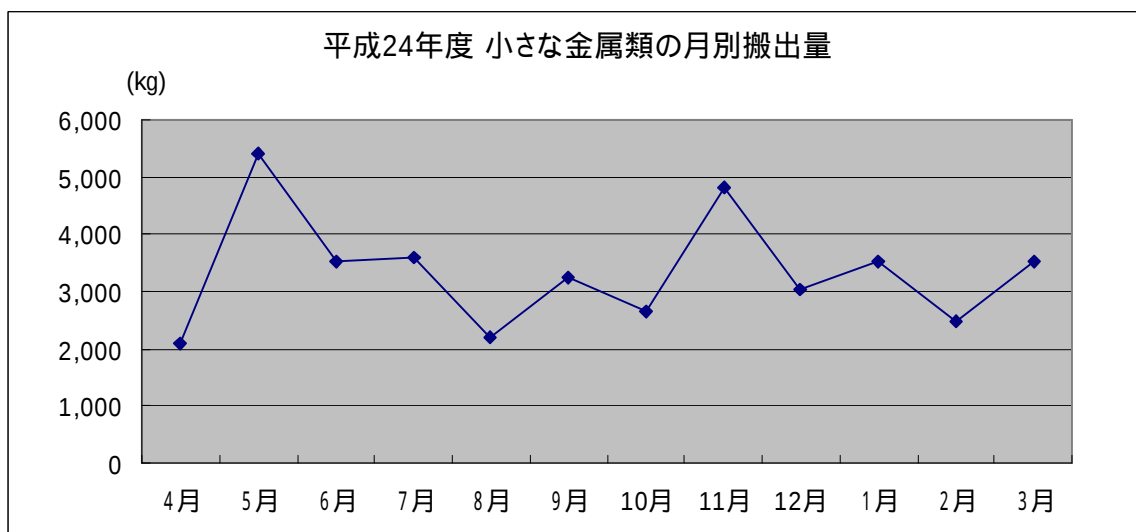


平成 24 年度 小さな金属類の月別排出量

（単位：kg）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,090	5,400	3,510	3,590	2,200	3,250	2,660	4,800	3,040	3,510	2,480	3,540	40,070

平成24年度 小さな金属類の月別搬出量



(コ) 廃蛍光管

平成 19 年 4 月から、埋立ごみとして回収していた廃蛍光管の分別回収を実施しました。

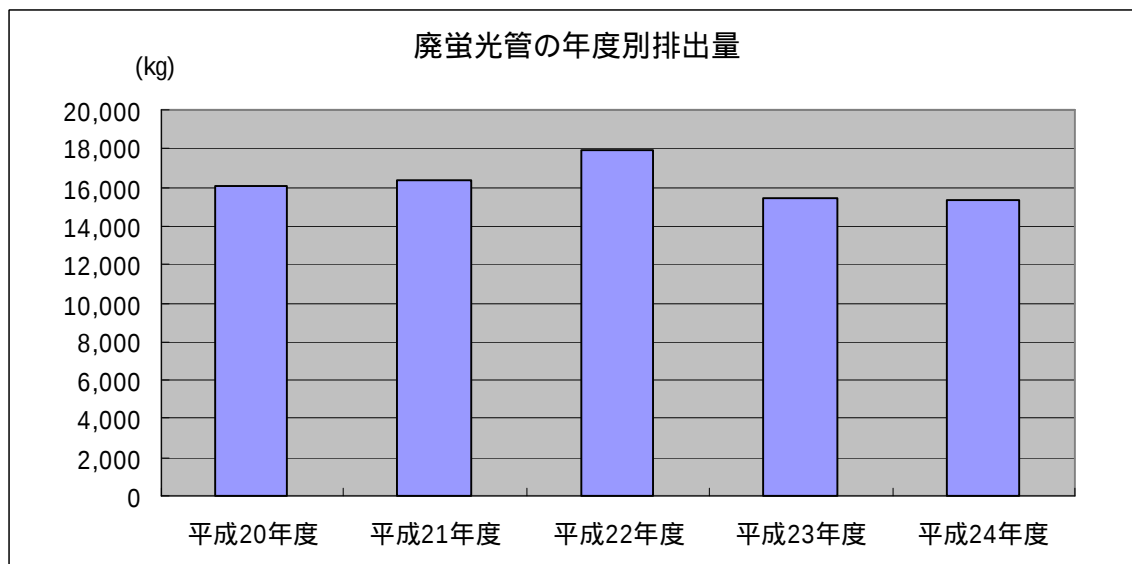
回収方法は、埋立ごみ・小さな金属類と同じ日に別のコンテナに排出してもらい、翌日に直営で回収し、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入した後、資源化されています。

対象品目は、破損していない廃蛍光管のみです。(破損した廃蛍光管、電球は、埋立ごみになります。)

廃蛍光管の年度別排出量

(単位：kg)

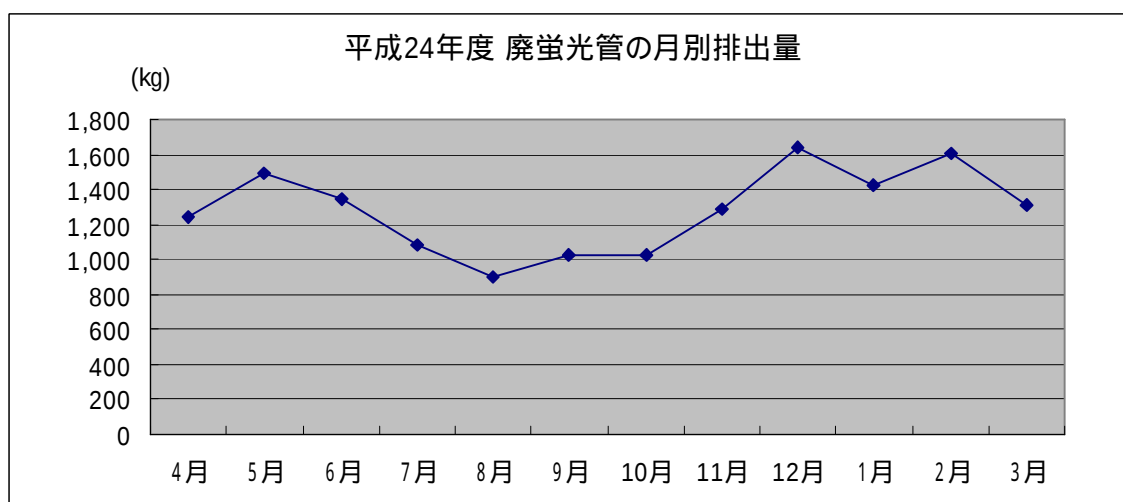
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
直営	16,040	16,410	17,930	15,470	15,380



平成 24 年度 廃蛍光管の月別排出量

(単位：kg)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1,240	1,490	1,340	1,080	900	1,030	1,030	1,290	1,640	1,420	1,610	1,310	15,380



(サ) 廃乾電池

市内の町会館、集会所、公民館、スーパー等に回収ボックスを設置し直営で回収しています。回収された廃乾電池は、岸和田市貝塚市クリーンセンターにストックした後、資源化されています。

廃乾電池の年度別収集量 (単位：t)

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
20	21	20	21	22

設置校区	廃乾電池回収ボックス設置場所
中央	堺町会館 北町会館 岸和田市立公民館 五軒屋町会館
城内	ハynesヴェルデ 南上町 1 丁目会館 南上町 2 丁目会館 南町新会館 市役所 (新館 旧館 別館) 岸城町北会館 岸城町南会館
浜	臨海会館管理事務所 中北町会館 大北町新会館老人集会所 中町会館
朝陽	岸和田コーポラス 光陽地区公民館 ふれあいセンター朝陽 上野町東会館 サンクス並松町店 下野町 1 丁目市営住宅集会所 上野町西会館 朝陽公民館 牛ノ口グラウンド 府営並松住宅
東光	消費者センター (産業会館内) 野田町会館 福祉総合センター 保健センター 藤井町会館 別所町会館 ダイコー岸和田店
旭	東岸和田市民センター 土生町会館 環境事務所 山下住宅集会所 行遇町集会所 イオン東岸和田店 (サービスコーナー) スーパーサンエー東岸和田店
太田	太田町会館 畑町会館 土生住宅集会所 極楽寺町会館 流木町実行組合
修斉	葛城町会館 有真香会館 オークワ岸和田八田店 真上町会館 阿間ヶ滝町実行組合
東葛城	上白原地蔵尊前 塔原町実行組合 相川町実行組合 河合町会館 神於町実行組合
春木	春木市民センター 春木地区公民館 春木南浜町会館 春木本町会館 春木元町会館 スーパーナショナル春木店 春木泉町会館 春木泉団地集会所 春木大国町会館 春木大小路町会館
大芝	大芝地区公民館 八幡町会館 シャルマンフジ忠岡 (磯上町) 松風町会館 万代磯上店 磯上町会館 八幡東町集会所
新条	松源中井町店 中井町会館 若葉ヶ丘町集会所 岸和田盈進会病院 星ヶ丘町会集会所 新条地区公民館
城北	城北地区公民館 スーパーサンエーフード田中店 春木旭町会館 吉井町会館 旭府営 住宅集会所
八木北	箕土路青少年会館 下池田町旧会館
八木	スーパーサンエー久米田店 レックスガーデン岸和田 紅葉ヶ丘町会館
八木南	池尻町会館 額町会館 松ヶ丘住宅集会所 八木サービスセンター 岸和田市民病院 緑ヶ丘町集会所 コープ久米田店 花田町会館
山直北	岡山町青年会場 黄金塚第 1 期 (集会所) 黄金塚第 2 期 (中央ロータリー) 今木町公 民館 岡山町バス停横ごみ集積所 三田町会館 小倉町会館 スーパーサンエー山直店 山直市民センター ロイヤル金物岸和田店 田治米町新会館
城東	東ヶ丘町会館
山直南	山直中翠ヶ丘町 山滝地区公民館 包近町会館 積川町会館
光明	尾生町青年会場 中尾生町会館 福田町会館 三ヶ山町掲示板前 光明地区公民館 尾生町会館
常盤	星和上松台会館 常盤青少年会館 下松町公民館 八阪町公民館 常盤サービスセンタ ー 上松町会館 上松台東町会館 門前町会館 上松緑町集会所 スーパーサンエー上 松店 山下町公民館 上松台西町会館
大宮	大宮青少年会館 女性センター 加守町 1・2・3・4 丁目会館 西之内町会館 杉の湯 サン・アビリティーズ 加守第 1 児童遊園 (旧)寺西電気店 かみででんき
山滝	山滝支所 大沢山荘
天神山	天神山地区公民館 天神山 3 丁目ごみ集積所 天神山 G 団地ごみ集積所 A・B

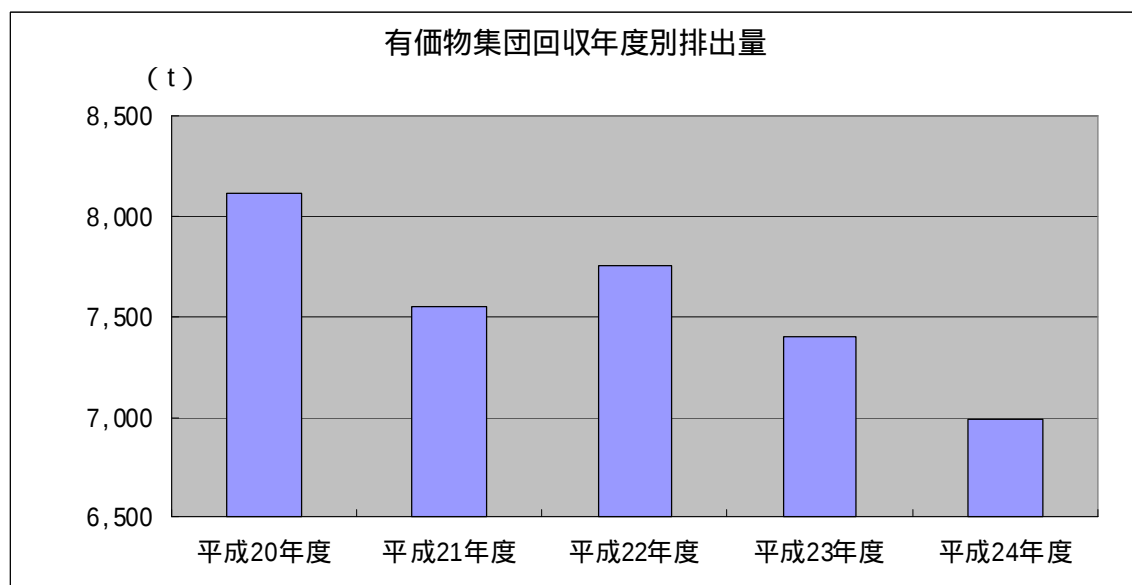
上記の他に一部の小中学校にも設置してあります。

(シ) 集団回収

平成3年4月より、ごみの減量及び資源化の促進、ごみ問題に対する市民の意識向上を目的として、集団回収（新聞・雑誌・ダンボール・古布）を自主的に行っている市内の町会、子供会等の団体に対し奨励金（6円/kg）を交付しています。

有価物集団回収奨励金制度年度別回収実績

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
交付団体		190	193	192	194	196
実施回数(回)		2,563	2,564	2,518	2,602	2,600
総回収量(kg)		8,106,791	7,547,279	7,749,725	7,403,285	6,991,368
前年度比(%)		90.9	93.1	102.7	95.5	94.4
1団体当り(kg)		42,667	39,105	40,363	38,161	35,670
回収量内訳(kg)	新聞	5,264,413	4,797,809	4,913,617	4,659,544	4,421,459
	雑誌	1,449,256	1,352,786	1,342,326	1,266,272	1,156,993
	ダンボール	1,087,846	1,080,986	1,153,236	1,118,917	1,082,589
	古布	305,276	315,698	340,546	358,552	330,327
奨励金(円)	奨励金合計	48,625,700	45,268,700	46,482,900	44,411,484	41,932,300
	1団体当り	255,925	234,553	242,098	228,925	213,940



有価物集団回収による実施団体種別回収量

(単位：kg)

	区分	回収内容				総回収量	実施回数
		新聞	雑誌	ダンボール	古布		
平成 20 年度	町会・自治会	1,586,214	467,282	326,631	87,431	2,467,558	1,150
	子供会	2,761,509	661,609	518,950	146,096	4,088,164	962
	婦人会	470,270	147,840	113,610	42,210	773,930	239
	老人会	264,940	68,005	92,575	15,629	441,149	145
	青年団	57,550	63,570	25,160	3,680	149,960	24
	その他	123,930	40,950	10,920	10,230	186,030	43
	合 計	5,264,413	1,449,256	1,087,846	305,276	8,106,791	2,563
平成 21 年度	町会・自治会	1,520,404	453,298	336,721	95,354	2,405,777	1,127
	子供会	2,481,895	615,918	534,100	154,776	3,786,689	975
	婦人会	392,280	122,810	98,545	40,085	653,720	226
	老人会	236,850	64,775	69,460	15,643	386,728	156
	青年団	53,570	61,850	26,250	3,470	145,140	24
	その他	112,810	34,135	15,910	6,370	169,225	56
	合 計	4,797,809	1,352,786	1,080,986	315,698	7,547,279	2,564
平成 22 年度	町会・自治会	1,621,642	475,935	391,071	112,104	2,600,752	1,133
	子供会	2,445,770	590,630	532,130	161,555	3,730,085	939
	婦人会	414,870	107,586	104,420	37,741	664,617	200
	老人会	256,325	67,665	80,789	19,196	423,975	167
	青年団	54,410	65,060	29,100	3,520	152,090	24
	その他	120,600	35,450	15,726	6,430	178,206	55
	合 計	4,913,617	1,342,326	1,153,236	340,546	7,749,725	2,518
平成 23 年度	町会・自治会	1,326,054	390,296	328,182	104,235	2,148,767	888
	子供会	2,270,745	527,125	501,126	164,641	3,463,637	886
	婦人会	381,949	98,523	98,856	37,732	617,060	206
	老人会	290,859	75,902	89,677	24,173	480,611	174
	マンション管理組合	131,241	46,520	24,531	8,065	210,357	303
	青年団	50,560	63,300	27,730	3,610	145,200	24
	その他	208,136	64,606	48,815	16,096	337,653	121
	合 計	4,659,544	1,266,272	1,118,917	358,552	7,403,285	2,602
平成 24 年度	町会・自治会	1,439,165	416,741	357,183	108,768	2,321,857	953
	子供会	2,144,621	468,002	476,247	150,065	3,238,935	896
	婦人会	362,910	92,398	101,263	33,350	589,921	168
	老人会	250,384	62,493	81,420	21,398	415,695	168
	マンション管理組合	136,753	48,252	25,851	7,350	218,206	333
	青年団	45,470	55,700	25,980	3,770	130,920	23
	その他	42,156	13,407	14,645	5,626	75,834	59
	合 計	4,421,459	1,156,993	1,082,589	330,327	6,991,368	2,600

イ 事業系ごみ

事業系ごみの減量にむけ、事業所自らの減量努力と廃棄物の分別を徹底するとともに適正な処理に努め、資源の有効利用推進のため、現在の社会情勢の認識と環境問題を考慮し、事業所自ら実践をしてもらうよう指導、啓発を進めています。

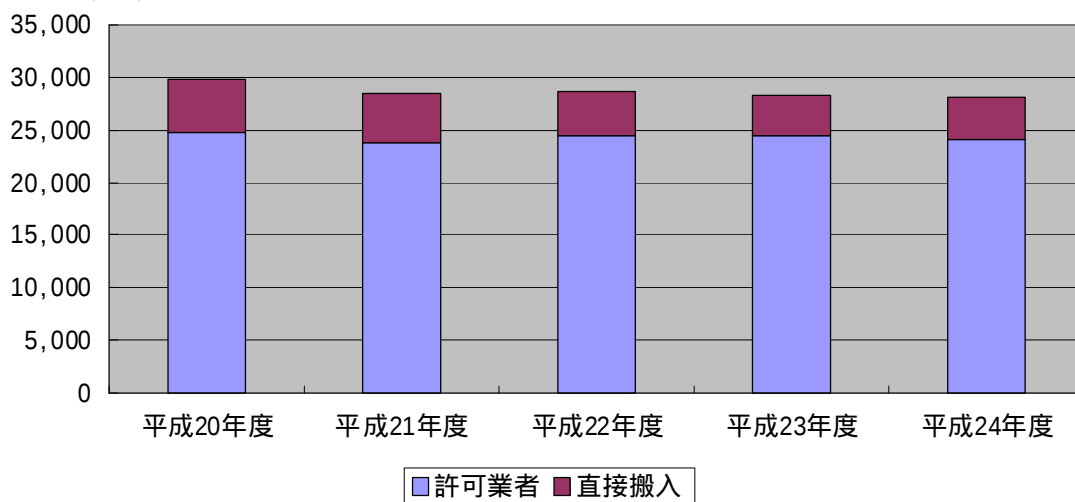
事業系ごみの年度別排出量

(単位：t)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
許可業者	可燃ごみ	24,445	23,400	23,996	23,984	23,621
	ビン・カン	134	134	115	112	98
	粗大ごみ	可燃性	195	222	323	370
		不燃性(金属・セトモノ)	40	42	43	40
		合計	235	264	374	410
	許可業者総排出量	24,814	23,798	24,488	24,470	24,129
直接搬入	可燃ごみ	4,522	4,225	3,761	3,335	3,639
	ビン・カン	6	3	5	90	2
	粗大ごみ	可燃性	321	282	256	304
		不燃性(金属・セトモノ)	49	55	67	82
		合計	370	337	323	386
	直接搬入総排出量	4,898	4,565	4,174	3,748	4,027
事業系ごみ総排出量		29,712	28,363	28,662	28,218	28,156

事業系ごみの年度別排出量

(t)



ウ リサイクル事業

(ア) リサイクルボードの管理事業

市民の皆様のご家庭にある不用品をリサイクルする情報交換の場として、リサイクルボードを市内3ヶ所(市役所、山直市民センター、春木市民センター)に設置しています。

平成24年度の各設置場所の利用状況は下記表の通りです。

平成24年度 リサイクルボード利用状況

(単位:件)

設置場所	ゆずります		いただきます		小計	
	申込件数	成立件数	申込件数	成立件数	申込件数	成立件数
市役所	37	2	56	2	93	4
山直市民センター	7	0	12	0	19	0
春木市民センター	29	2	45	1	74	3
総合計	73	4	113	3	186	7

注) 申し込み件数と成立件数が合致しないのは、掲示期間(1ヶ月)を設定している為、この期間に成立しなかった場合はボードから削除しています。

(イ) リユース品(再利用品)無償譲渡会

市民の方から提供のあった家具類、ベビー用品、日用雑貨などを展示し、公開抽選により市民の方に譲渡しました。

第1回 平成24年8月8日(水)～平成24年8月10日(金)

リユース品 198点

来場者 400名

第2回 平成25年2月27日(水)～平成25年3月1日(金)

リユース品 213点

来場者 368名



展示場内の様子



公開抽選会の様子

(ウ) 家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度

市民のごみ資源化の取組みに対する意識の高揚を図り、地球温暖化の防止並びにごみの再資源化及び減量化の推進に資することを目的として平成 23 年 6 月から実施しています。

【補助対象者】

- 1 住民基本台帳に記録があり、現にその住所に居住している方
- 2 申請時に市税を完納していること
- 3 自己の居宅又は、市が適当と認めた場所に設置し、処理機器をその用法に従い、適正に維持管理ができること
- 4 補助対象機器から生成される堆肥等の適正処理が行えること
- 5 5 年以内にコンポスト・EMバケツの無償貸与を受けていないこと
- 6 当該補助金の交付を受けてから 5 年を経過していること

【補助対象となる家庭用生ごみ処理機器及び補助金額】

購入額 2,000 円未満のものは補助の対象とはなりません。

(1 世帯 1 台とします。ただし、EMバケツに限っては 2 基までとします。)

電源を必要とする処理機器(電動式生ごみ処理機) 生ごみを砕いたり、焼却するものは除く
処理機器購入費用(消費税及び地方消費税を含む)の 1/2 を補助、上限を 20,000 円とする。

1,000 円未満切捨て

電気設備等の付帯設備に要する費用は除く

電源を必要としない処理器(コンポスト・EMバケツなど)

処理機器購入費用(消費税及び地方消費税を含む)の 1/2 を補助、上限を 3,000 円とする。

100 円未満を切捨て

家庭用生ごみ処理機器購入補助金申請実績

	申請件数	申請金額(円)	交付件数	交付金額(円)	備考
平成 23 年度	59	562,800	59	562,800	
平成 24 年度	17	198,000	16	196,100	取消 1 件

【内 訳】

	生ごみ処理器補助対象件数	電動式処理機補助対象件数	合計
	補助金額交付合計(円)	補助金額交付合計(円)	
平成 23 年度	36	23	59
	106,800	456,000	562,800
平成 24 年度	7	9	16
	16,100	180,000	196,100

エ 美化活動

美化活動を実施する前に美化活動支援申込書を提出してもらい、自主的に美化活動を行っていただいております。町会または各種団体等において実施され、指定された場所に排出されたごみについては、直営で収集を行っています。

また、町会の班・組等による小規模な美化活動（ボランティア活動）によって排出されたごみについては、当該町域の普通ごみ回収の日に、家庭から排出される普通ごみと一緒に回収しています。

美化活動の申込件数と収集量

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
申込み件数(件)	469	501	612	573	582
収 集 量(kg)	247,960	215,850	252,770	233,210	221,940
総活動回数(回)			1,686	1,344	1,368

ボランティア活動含む。

オ 家電 4 品目

平成 13 年 4 月 1 日家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)が施行されました。この法律では、家電 4 品目について、小売業者による引取り及び製造業者等（製造業者、輸入業者）による再商品化等（リサイクル）が義務付けられていますが、岸和田市では法施行後から収集運搬を行っています。

平成 21 年 4 月から家電リサイクル法にテレビ（液晶・プラズマ式）及び衣類乾燥機が追加されました。

家電 4 品目の処分を市に依頼する場合、リサイクル料金を郵便局に振込み、収集運搬手数料（1 台につき 2,000 円）は生活環境課が徴収し収集運搬しています。

年度別家電 4 品目収集運搬手数料集計

品 目	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	台 数	費用(円)	台 数	費用(円)	台 数	費用(円)
洗濯機及び 衣類乾燥機	7	14,000	4	8,000	4	8,000
エアコン	2	4,000	0	0	3	6,000
冷蔵庫及び 冷凍庫	9	18,000	6	12,000	11	22,000
テレビ (ブラウン管式) (液晶・プラズマ式)	14	28,000	12	24,000	12	24,000
合 計	32	64,000	22	44,000	30	60,000

(指定引取場所 日本通運㈱)

カ 不法投棄

岸和田市では、不法投棄撲滅のため、南海岸和田駅及び JR 東岸和田駅周辺での街頭啓発、6月～8月にかけて、市を挙げて不法投棄防止及び防犯夜間パトロールを実施しています。また、岸和田市不法投棄防止対策連絡会で、不法投棄防止の監視体制の強化、関係機関及び地域住民との協力により不法投棄対策を推進しています。

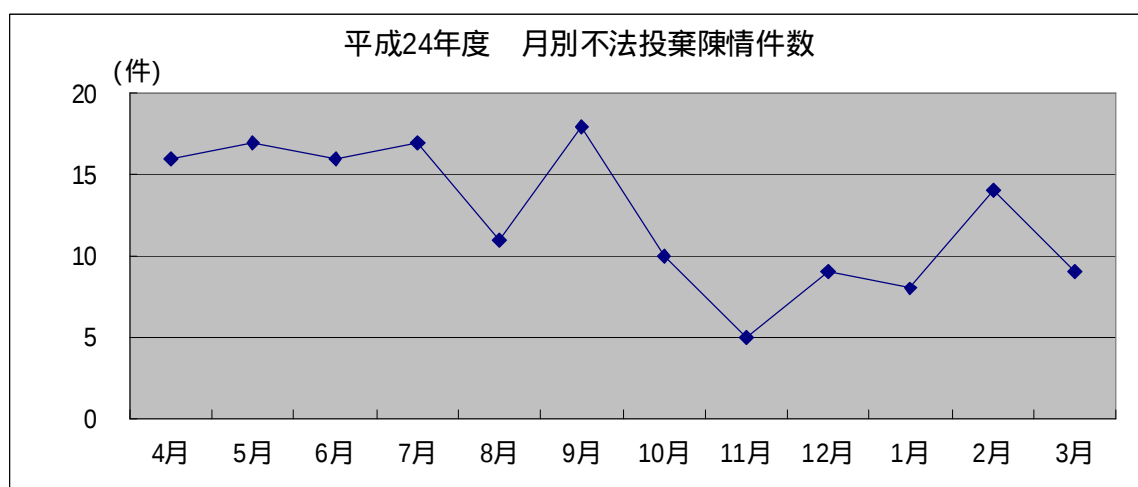
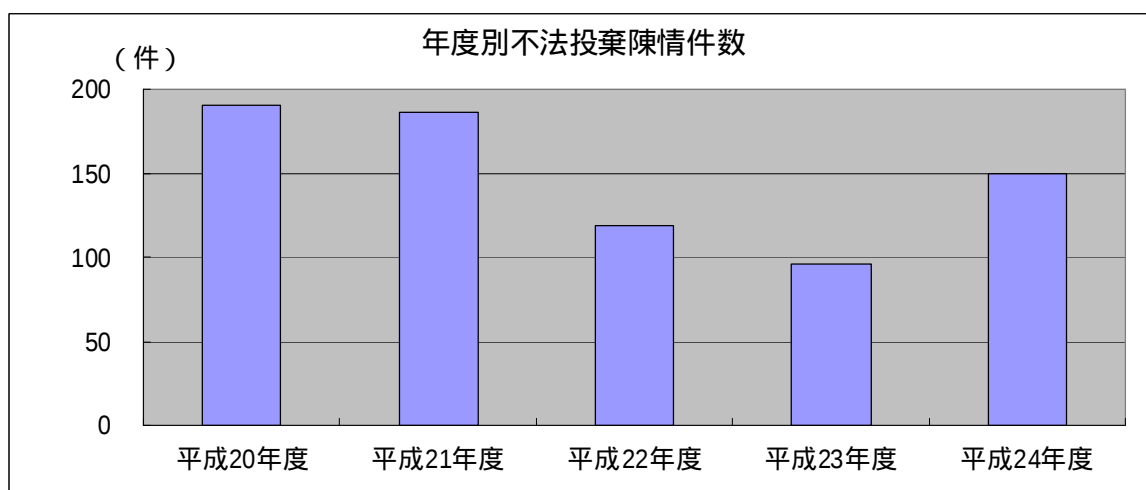
(1) 不法投棄陳情件数

年度別不法投棄陳情件数

(単位 : 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 20 年度	14	17	23	13	14	10	22	12	14	18	15	19	191
平成 21 年度	25	17	17	16	12	15	19	18	7	16	20	4	186
平成 22 年度	10	7	11	5	24	12	5	12	9	7	7	10	119
平成 23 年度	11	6	10	8	7	7	6	5	11	7	10	8	96
平成 24 年度	16	17	16	17	11	18	10	5	9	8	14	9	150

平成 23 年度までは環境保全課、平成 24 年度からは生活環境課に寄せられた件数
その他、市の施設管理課へ直接陳情された件数は含まない。



(2) 岸和田市不法投棄等防止対策連絡会

ア．概要

不法投棄等防止対策連絡会は、岸和田市における不法投棄等の課題に対処するため平成 14 年に設置されました。

イ．実施事業

(ア) 全国ごみ不法投棄監視ウィーク

環境省では平成 19 年度から、不法投棄等を発生させない環境づくりをさらに強化していくための取組として、5 月 30 日（ごみゼロの日）から 6 月 5 日（環境の日）までを「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」として設定し、国、都道府県等、市民等が連携して、監視活動や啓発活動を一齐に実施しています。

岸和田市では期間中に南海岸和田駅と JR 東岸和田駅周辺において、公用車による街頭啓発、及び環境省、大阪府の協力を得て啓発物品の配布等をおこなっています。

（実施日）平成 24 年 6 月 1 日（金曜日）

（参加人数）南海岸和田駅 岸和田市（15 名） 環境省（2 名）

JR 東岸和田駅 岸和田市（15 名） 大阪府（1 名）

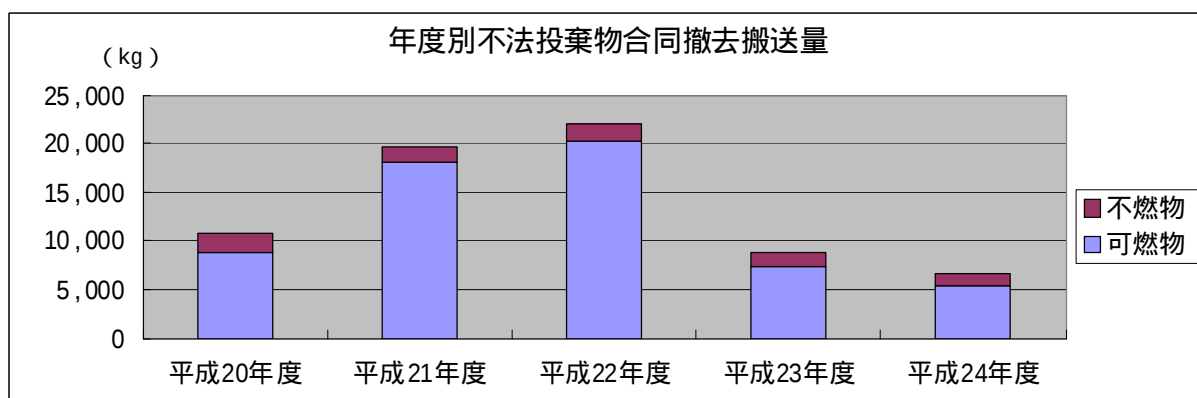
(イ) 不法投棄物合同撤去

年度別不法投棄物合同撤去搬送量

（単位：kg）

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
可燃物	8,815	18,110	20,300	7,430	5,390
不燃物	1,950	1,560	1,770	1,390	1,250
合計	10,765	19,670	22,070	8,820	6,640

家電 4 品目、タイヤ等クリーンセンター搬入不可物の重量は含まれない。



(ウ) 不法投棄防止及び防犯夜間パトロール

岸和田市では市域を 6 ブロックに分割し、青色パトライト装着車（公用車）6 台により不法投棄防止及び防犯夜間パトロールを、6 月、7 月、8 月の各月 2 回実施しています。

（実施日）平成 24 年 6 月 8・22 日、7 月 13・27 日、8 月 3・24 日

（参加者）庁内 51 部署 延べ 103 名

ウ．組織

大阪府	岸和田警察署生活安全課、岸和田土木事務所維持管理課 港湾局阪南港湾事務所管理課、泉州農と緑の総合事務所環境指導課
岸和田市	総務管財課、自治振興課、危機管理課、産業政策課、農林水産課、 都市計画課、建設指導課、市街地整備課、丘陵地区整備課、道路河川課 公園街路課、スポーツ振興課、消防本部予防課、消防本部消防署、 環境保全課、生活環境課

キ 胞衣・汚物収集運搬

胞衣・汚物収集件数

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
胞衣（個）	762	552	520	643	654
汚物（個）	88	76	75	104	68

死獣持込受付件数（ペット扱い）

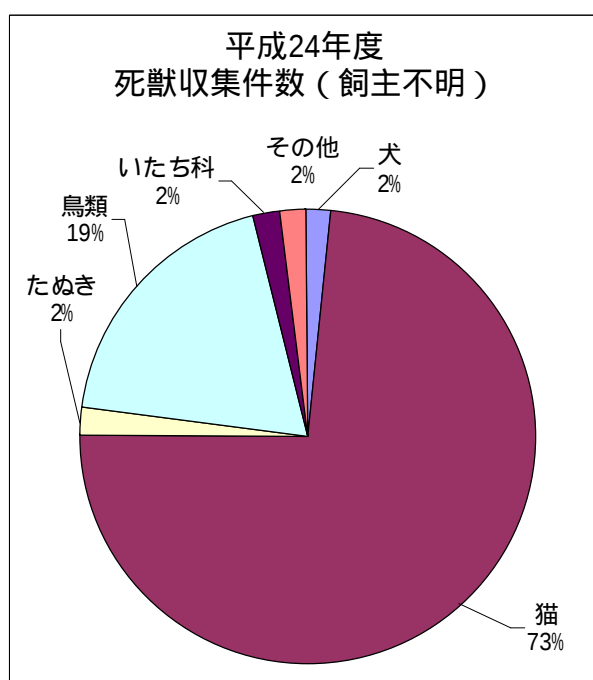
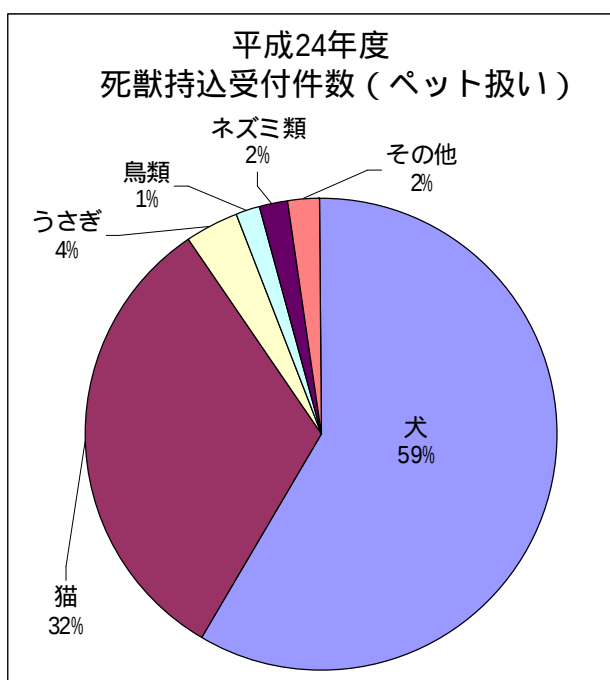
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
犬（匹）	1,210	1,228	1,166	1,112	1,113
猫（匹）	581	608	615	639	615
うさぎ（羽）	67	64	74	55	74
鳥類（羽）	30	32	30	25	28
ネズミ類（匹）	32	23	42	51	41
その他	25	31	20	39	40
合 計	1,945	1,986	1,947	1,921	1,911

ペットについては一体につき手数料1,000 円必要です。

死獣収集件数（飼主不明）

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
犬（匹）	35	18	26	24	25
猫（匹）	1,028	1,003	999	1,080	1,055
たぬき（匹）	80	69	97	79	27
鳥類（羽）	186	181	256	211	277
いたち科（匹）	23	27	22	23	27
その他	21	30	36	38	27
合 計	1,373	1,328	1,436	1,455	1,438

飼主不明の場合、手数料は必要ありません。



ク 一般廃棄物（し尿）処理事業

（ア）概要

し尿くみ取りは、昭和 27 年に市の指定業者として 1 業者が市域の一部、昭和 30 年に許可制となり、5 業者が市内一円のくみ取りを始め、昭和 42 年に 3 業者を新たに許可し、地域指定としました。

助成については、1 人当たり 1 ヶ月 194 円負担していましたが、平成 20 年 6 月からは、公共下水道等が整備され供用開始から 3 年経過しているくみ取り世帯への助成は、廃止となっています。

公共下水道等には、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設を含む。

し尿くみ取り手数料 （消費税込み）

人数制	普通便所	1 人につき 1 ヶ月 456 円
	無臭便所	上記に 1 槽 1 ヶ月 378 円加算
	簡易水洗便所	1 人につき 1 ヶ月 734 円
従量制	一般家庭で便所が 2 ヶ所以上あり、主たる便所 1 ヶ所を除く他の便所	10ℓにつき 73 円
	臨時に申し込みがあったもの	10ℓにつき 94 円 + 2,100 円
	商店、事業所等	10ℓにつき 110 円

し尿くみ取り・浄化槽清掃業許可業者

事 業 所 名	電 話 番 号	所 在 地
(株)両国設備	072 -439 -6000	上町 23 -8
(株)坂井設備工業所	072 -438 -4723	下野町 5 -14 -16
阪南設備工業(株)	072 -422 -0568	木材町 9 -9
岸和田設備工業(株)	072 -423 -0062	並松町 8 -17
(有)出口設備工業所	072 -444 -8761	箕土路町 2 -17 -4
(有)久米田設備	072 -445 -9184	小松里町 1128 -1
(株)山本設備	072 -445 -2062	三田町 209 -1
(株)大八清掃社	072 -422 -4583	南上町 2 -23 -23

浄化槽清掃業については、地域別業者指定はありません。

(イ) し尿の収集運搬、処理

し尿及び浄化槽汚泥については許可業者で収集運搬します。

し尿処理場（天の川浄苑）の運転は昭和 35 年から始まりました。

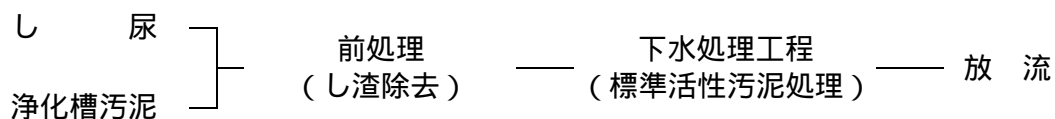
し尿排出量の実績と推移 (単位：kℓ)

	し 尿	浄化槽汚泥	合 計
平成 20 年度	28,412	10,250	38,662
平成 21 年度	27,008	8,819	35,827
平成 22 年度	25,714	7,772	33,487
平成 23 年度	22,307	6,784	29,091
平成 24 年度	21,087	6,170	27,257

し尿処理の状況

	くみ取り人口 (3 月末現在)	くみ取り世帯数 (3 月末現在)	岸和田市人口 (3 月末現在)
平成 20 年度	15,408	6,685	203,513
平成 21 年度	14,534	6,440	202,977
平成 22 年度	13,752	6,227	202,643
平成 23 年度	13,129	6,041	202,176
平成 24 年度	12,627	5,898	201,372

(ウ) 天の川浄苑におけるし尿及び浄化槽汚泥処理工程



(3) ごみの分別及び資源化
ア ごみの分別収集・回収状況

	形態	種別	回収品目等	排出等	収集回収等
1	普通ごみ	可燃性ごみ	野菜くず、魚のあら、ティッシュ等、細かい紙くずなど一般家庭から出る「燃やせるごみ」	ステーション (指定曜日) 有料指定袋(10ℓ、20ℓ、45ℓ)を使用し排出	週2回 (祝日も収集)
2	空きビン 空きカン	空きビン 空きカン	飲料用等の空きビン・空きカン、カセットコンロ用ガス缶等	ステーション (指定曜日)	週1回 (祝日は休み)
3	プラスチック類	プラスチック類	ペットボトル以外のプラスチック製容器、プラスチック製品	ステーション (指定曜日)	週1回 (祝日も収集)
4	粗大ごみ	可燃性粗大ごみ 不燃性粗大ごみ	電化製品(家電4品目及びパソコンを除く)、家具類、ストーブなど、一般家庭から出る「大型ごみ」	電話で申込・各戸収集 粗大ごみ処理券(500円)を指定された金額分貼付し排出	随時
5	埋立ごみ	埋立ごみ	陶器類・電球・化粧品等のビン	町会館・集会所等	2ヶ月に1回 (奇数月・偶数月)
6	小さな金属類	不燃性粗大ごみ	なべ・やかん・フライパン・傘他、長さ25cm以下の金属類(電化製品は除く)	町会館・集会所等	2ヶ月に1回 (奇数月・偶数月)
7	廃蛍光管	廃蛍光管	破損してない物	町会館・集会所等	2ヶ月に1回 (奇数月・偶数月)
8	紙パック	紙パック	牛乳・ジュース等の紙パック(内側がアルミ加工されていない紙パック)	拠点回収 (排出は随時)	
9	廃乾電池	廃乾電池	廃乾電池	拠点回収 (排出は随時)	
10	ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	拠点回収 (店頭回収、排出は随時) モデル回収地区 (ステーション)	モデル地区回収は「空きビン・空きカン」との隔週回収
11	廃食用油	廃食用油	廃食用油	拠点回収 (年2回指定する日) 一部常設	年2回
12	集団回収	古紙	ダンボール等と(1)新聞(2)雑誌(3)古布 古布については回収していない団体もあります。	各地域の実施団体で指定されている日、場所	(各地域の実施団体による)
		白色の発泡スチロール製食品トレー	白色の発泡スチロール製食品トレー	(各流通販売店) 各流通販売店で引き続き回収を推進してもらう。	各流通販売店、自主回収の推進

収集形態 12 形態 13 種分別

イ 資源物の行き先

	品名		排出方法	回収方法	集積場所	行先	再資源化 (リサイクル)
2	空き カン	アルミ スチール	ステーション	市直営 委託業者	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	(株)ナベショー (株)近畿プレス (株)ホクセツ (有)フジカン 新豆陽金属工業(株) サニーメタル(株)	アルミ製品、 鉄製品に再生化
		酒 ビール	業者引き取り等			酒、ビール 関係メーカー	酒、ビール用の ビンに再利用
	空き ビン	その他の ビン類	ステーション	市直営 委託業者	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	再生加工業者 (工場) 石塚硝子(株)	ビンに再生化
3	プラスチック類		ステーション	市直営 委託業者	関西リサイクル 環境事業 協同組合	(株)広島リサイクル センター	造粒ペレット後、 プラスチック製品 製造企業へ
4	粗大ごみ (金属)		申込制 各戸回収	市直営	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	住金スチール(株)	アルミ製品、 鉄製品に再生化
6	小さな金属類		町会館、集会所等で回収			新豆陽金属工業(株) サニーメタル(株)	
7	廃蛍光管 (破損してない物)		町会館、集会所等で回収	市直営	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	野村興産(株)	ガラス、水銀等に 再利用
8	紙パック類 (洗う、開く、乾かす)		量販店・公共施設 (23ヶ所)	委託業者	生活環境課	王子製紙(株)	ティッシュペーパー、 トイレットペーパー 等に再生化
9	廃乾電池		回収 BOX 設置 (148ヶ所)	市直営	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	JFE 条鋼(株)	溶融処理後、鉄鋼製品 等に再利用
10	ペットボトル (洗う、乾かす、 キャップを取る、 ラベルをはがす)		量販店、公共施設に 回収 BOX 設置 (29ヶ所)	市直営 (一部モデル 地区で委託)	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	(株)レコ	洗面器、マグカップ、 プランター等に 再生化
						サニーメタル(株)	シート及び繊維 に加工
11	廃食用油		各町会、自治会毎に 日時、場所を定め実施	委託業者	生活環境課 リマテック(株) (旧社名 近畿環境興産(株))	リマテック(株) (旧社名 近畿環境興産(株))	セメント製造時の 補助燃料
12	ダンボール 新聞 雑誌類 布類		集団回収 町会、子供会、婦人会、 老人会等の団体が 日時、場所を定め実施 (196団体)	再生資源 回収業者		再生加工業者 (工場)	再生紙、新聞紙、 トイレットペーパー 等に再製品化
	トレー (洗う、乾かす)		販売店 回収 BOX 設置	販売店	販売店	再生加工業者 (工場)	再製品化

(4) 年度による対比

(単位:kg)

区分/年度			22年度	23年度	24年度	比較(22・23)		比較(23・24)	
一般家庭ごみ	a	1. 普通ごみ	28,483,130	29,385,790	29,155,480	902,660	3.17%	230,310	-0.78%
		ア 直営	2,511,990	2,581,870	2,503,530	69,880	2.78%	78,340	-3.03%
		イ 直営(美化等)	284,850	269,810	254,500	15,040	-5.28%	15,310	-5.67%
		ウ 委託	25,686,290	26,534,110	26,397,450	847,820	3.30%	136,660	-0.52%
	b	2. 空きビン・カン	1,928,070	1,803,790	1,715,510	124,280	-6.45%	88,280	-4.89%
		ア 直営	151,600	150,560	144,080	1,040	-0.69%	6,480	-4.30%
		イ 直営(美化等)	4,440	5,430	4,800	990	22.30%	630	-11.60%
		ウ 委託	1,772,030	1,647,800	1,566,630	124,230	-7.01%	81,170	-4.93%
		3. プラスチック類	3,251,770	3,134,430	3,057,170	117,340	-3.61%	77,260	-2.46%
		ア 直営	272,740	259,920	247,700	12,820	-4.70%	12,220	-4.70%
		イ 委託	2,979,030	2,874,510	2,809,470	104,520	-3.51%	65,040	-2.26%
		4. ペットボトル(直営)	85,280	80,410	87,610	4,870	-5.71%	7,200	8.95%
		ア 直営	84,830	75,590	80,920	9,240	-10.89%	5,330	7.05%
		イ 委託	450	4,820	6,690	450	—	1,870	38.80%
		5. 紙パック(委託)	14,830	15,830	14,740	1,000	6.74%	1,090	-6.89%
		6. 廃食用油(委託)	17,680	17,860	15,990	180	1.02%	1,870	-10.47%
		c	7. 粗大ごみ	345,170	345,670	342,990	500	0.14%	2,680
	ア 直営(可燃性)		217,560	223,380	221,660	5,820	2.68%	1,720	-0.77%
	イ 直営(金属)		127,610	122,290	121,330	5,320	-4.17%	960	-0.79%
	d	8. 埋立ごみ(直営)	217,630	221,150	216,810	3,520	1.62%	4,340	-1.96%
		9. 小さな金属(直営)	40,310	39,460	40,070	850	-2.11%	610	1.55%
	e	10. 廃蛍光管(直営)	17,930	15,470	21,850	2,460	-13.72%	6,380	41.24%
		11. 廃乾電池(直営)	20,380	20,590	15,380	210	1.03%	5,210	-25.30%
	f	12. 直接搬入量	1,864,170	2,004,044	2,147,980	139,874	7.50%	143,936	7.18%
	g	13. 集団回収(新聞・雑誌・ダンボール等)	7,749,725	7,403,285	6,991,368	346,440	-4.47%	411,917	-5.32%
	A. 家庭ごみ計(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13)		44,036,075	44,487,779	43,822,948	451,704	1.03%	664,831	-1.49%
	比 率(A÷17)		60.57%	61.19%	60.88%				
事業系ごみ	14. 許可業者搬入量		24,488,870	24,469,970	24,128,730	18,900	-0.08%	341,240	-1.39%
	a	ア 可燃ごみ	23,996,220	23,984,010	23,620,610	12,210	-0.05%	363,400	-1.52%
	b	イ ビン・カン	115,320	112,170	98,480	3,150	-2.73%	13,690	-12.20%
	c	ウ 粗大ごみ	377,330	373,790	409,640	3,540	-0.94%	35,850	9.59%
	f	15. 直接搬入量	4,174,120	3,748,186	4,026,960	425,934	-10.20%	278,774	7.44%
	B. 事業系 計(14+15)		28,662,990	28,218,156	28,155,690	444,834	-1.55%	62,466	-0.22%
	比 率(B÷17)		39.43%	38.81%	39.12%				
	16. 清掃工場搬入量		61,665,060	62,134,530	61,899,370	469,470	0.76%	235,160	-0.38%
17. 総排出量		72,699,065	72,705,935	71,978,638	6,870	0.01%	727,297	-1.00%	
18. 岸和田市の人口(人)		203,006	202,587	201,858	419	-0.21%	729	-0.36%	
19. 岸和田市の世帯数(世帯)		82,638	83,358	83,991	720	0.87%	633	0.76%	

a 可燃ごみ b 資源ごみ c 粗大ごみ d 不燃ごみ e その他ごみ f 直接搬入ごみ g 集団回収

4 害虫駆除

(1) 害虫駆除薬散布器材の貸出

毎年、5月～7月にかけ、申請のあった町内会及び各種団体に、実施に伴う薬剤及び、器材の貸出し、害虫駆除が行われています。

害虫駆除薬散布器材申込件数 (単位：件)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
申込総数	90	92	92	93	97

- ・貸出器材 希釈用桶 (100ℓ) ・じょうろ ・ひしゃく ・じょうご ・計量カップ
- ・貸出薬剤 レナトップ (乳剤 ・医薬部外品)

(2) 害虫駆除の問い合わせ

公共施設、公園、側溝、水路などへの衛生害虫、樹木害虫、不快害虫を対象にした駆除等の相談を行っています。(駆除業者の紹介)

害虫駆除問い合わせ件数 (単位：件)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
年間件数	104	66	13	47	51
種 類 別 内 訳					
蚊、ユスリカ	32	3	0	8	4
毛 虫	9	0	0	2	1
セアカゴケグモ	54	45	11	21	40
ヤスデ	1	0	0	1	0
その他	8	18	2	5	6
合 計	104	66	13	47	51

(3) ゴキブリ・ねずみ駆除薬配布

例年、ゴキブリ・ねずみ・駆除強調月間として市広報掲載にて、ゴキブリ駆除は6月に、ねずみ駆除は2月に駆除薬を、サンプル的に配布を行っています。

駆除薬配布以外に5月～7月にかけて各団体(町会、自治会、市青協等)が害虫駆除薬剤散布も行っています。

駆除薬配布件数 (単位：件)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
ゴキブリ駆除薬	252	253	308	360	586
ねずみ駆除薬	131	88	44	45	40

5 環境教育の推進

(1) 環境フェア

平成4年に、市制施行70周年記念事業の一環としてリサイクルフェアを開催したのが始まりで、以後も環境フェアとして毎年11月上旬に実施してきました。

平成14年からは、産業フェアと同時開催することで大勢の市民の方が来場され、より一層環境に対しての関心も深まってきていると考えています。

平成22年からは、環境月間である6月にあわせて、本市の公民協働による環境まちづくりを推進するため、多様な事業主体による一体的かつ集中的な協働の取組みとして、環境フェアを開催しています。

平成24年度実施内容

名 称 「きしわだ環境フェア2012」
開催日 平成24年6月3日(日) 午前10時から午後4時
開催場所 岸和田カンカンベイサイドモール (岸和田市港緑町)
ウエストロトンダ広場および噴水周辺

実施事業

- 家庭用生ごみ処理機器購入補助事業に関するパネル展示、(生活環境課) 市内河川の生き物展示、神於山里山保全の取り組みの紹介、市内のため池の自然調査の展示(環境保全課) 電気自動車の展示(関西電力) ごみゼロ作戦の紹介(ごみゼロ作戦会議) 生ごみの堆肥化による減量化・再資源化の紹介、市内一斉気温測定の参加者募集と牛乳パックで作る簡易百葉箱の製作実演・配布、きしわだ産の麦による麦茶サービスと麦わらホタルかごの製作(きしわだ環境市民会議)

(2) 岸貝クリーンセンターフェア

岸和田市、貝塚市、岸和田市貝塚市クリーンセンターの合同イベントとして、平成24年7月7日(土)に「岸貝クリーンセンターフェア」が開催され、本市は「ペットボトルだんじり」、「環境パネル展示」、「パネルクイズ」、「牛乳パックを使った工作(風車)」を催し、631名の来場者がありました。

(3) 出前講座

岸和田市のごみの現状やごみの分別、3Rの推進運動などのテーマで出前講座を開催しています。主な出前講座は、生涯学習課に登録している内容で、各種団体(教育学級、高齢者大学等)の依頼を受け、講師を派遣しています。

その他、小中学校からは総合学習の依頼での出前講座も行っています。

平成24年度 活動内容

日 付	団 体	参加人数	講座内容	場 所
7月20日	ウイング女性学級	15	ごみの分別について	東岸和田 市民センター
11月20日	岸和田女性会議	11	岸和田のごみ処理について	女性センター

6 市民の環境活動等

(1) まちを美しくする市民運動推進協議会

ア 団体の概要

まちを美しくする市民運動推進協議会は、昭和 53 年 6 月に市民及び各種市民団体による、自主的かつ積極的な生活環境の浄化のための運動を推進することを目的として結成されました。

イ 活動の状況

美化啓発、青少年育成、緑化推進の 3 部会において、自主的に各部会の目的にそって市民ぐるみの運動を実施しています。

ウ 実施事業

(ア) 標語・ポスターの募集、審査、展示、表彰

- 平成 24 年 8 月 1 日 ~ 9 月 5 日 -- ○募集 応募総数 1,492 点
平成 24 年 10 月 3 日 ~ 10 月 16 日 -- ○展示 トークタウン 2 階ちびっ子広場
入選作品 (標語 20 点、ポスター 40 点)
平成 24 年 11 月 7 日 ~ 11 月 14 日 -- ○展示 岸和田市役所 本庁玄関前
入選作品 (標語 20 点、ポスター 40 点)
平成 24 年 11 月 4 日 ----- ○表彰 入選者と善行者
個人 8 名、団体 4 (うち特別賞 1 団体)

(イ) 美化・青少年育成・緑化推進運動

- 平成 24 年 8 月 26 日 ~ 10 月 7 日 -- ○美化・青少年育成・緑化推進運動実施
強調期間
○公共の施設及び電柱等に掲示した違法
広告物、看板の除却活動及び清掃活動
○道路・公園等の清掃運動
平成 24 年度実施町会及び団体数
町会等団体 (期間中 94、期間外 488)

(ウ) きれいな岸和田大作戦

- 平成 24 年 8 月 26 日 -- ○本協議会と国道 26 号以西の各町会の協力を得て南海線
各駅周辺の主要道路と各町会区域で清掃活動を実施。
(参加人数 約 1,040 人)
平成 24 年 9 月 29 日 -- ○本協議会と国道 26 号以东の各町会の協力を得て JR 阪和
線各駅周辺の主要道路と各町会区域で清掃活動を実施。
(参加人数 約 870 人)

エ 他団体主催事業への参画・支援

清掃活動

- 平成 24 年 6 月 24 日 -----○港湾周辺地域
平成 24 年 9 月 9 日 -----○岸城神社周辺
平成 24 年 11 月 4 日 -----○春木川・轟川・津田川
平成 24 年 11 月 4 日 -----○久米田池周辺
平成 25 年 2 月 10 日 -----○久米田池堤周辺
平成 25 年 3 月 10 日 -----○春木川・轟川・津田川

まちを美しくする市民運動推進協議会（参加団体）

岸和田市町会連合会	岸和田防犯協議会
岸和田市青少年指導員協議会	岸和田地区高等学校生活指導連絡会
岸和田市青年団協議会	岸和田税務署管内小売酒販組合
岸和田市PTA協議会	国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所南大阪維持出張所
岸和田市こども会育成連絡協議会	関西電力株式会社岸和田営業所
岸和田少年補導補助員連絡会	日本たばこ産業株式会社岸和田営業所
岸和田商店街連合会	大阪トヨペット株式会社U-Carランド岸和田店
岸和田ボーイスカウト育成会	岸和田自転車軽自動車組合
ガールスカウト日本連盟大阪府支部第78団	岸和田港振興協会
岸和田ライオンズクラブ	いずみの農業協同組合
岸和田中央ライオンズクラブ	岸和田市林業活性化協議会
岸和田千亀利ライオンズクラブ	岸和田商工会議所
岸和田シニアライオンズクラブ	公益社団法人岸和田青年会議所
岸和田コスモスライオンズクラブ	大阪府泉州農と緑の総合事務所
岸和田東ロータリークラブ	岸和田造園緑化協同組合
岸和田南ロータリークラブ	一般財団法人岸和田市公園緑化協会
岸和田北ロータリークラブ	大阪府岸和田土木事務所
岸和田ロータリークラブ	大阪府岸和田保健所
岸和田女性会議	岸和田警察署
岸和田市小・中学校生活指導研究協議会	岸和田市
岸和田市青少年カウンセラー協議会	

(2) 岸和田市廃棄物減量等推進員

ア 団体の概要

廃棄物減量等推進員制度は、平成6年「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例」及び「岸和田市廃棄物減量等推進員設置要綱」に基づき地域のリーダー的役割を果たし、市民と市のパイプ役を担っていただくために設置しました。

イ 平成24年度 推進員構成

各町会（自治会）推薦	354名
公募	0名
総数	354名

ウ 主な活動

1. 地域におけるごみの減量化、リサイクルの推進並びにごみの適正な排出等の指導啓発に関すること。
 - (1) 地域内のごみの減量と家庭ごみの分別指導。
 - (2) 有価物集団回収の指導及び協力の呼びかけ。
 - (3) コンポスト等の生ごみ堆肥化の普及と指導。
 - (4) 廃食用油回収の指導及び、協力の呼びかけ。
 - (5) 埋立てごみ、小さな金属類の分別指導。
 - (6) 再生品（トイレットペーパー等）の購入の呼びかけ。
2. ごみの不法投棄防止のための市への協力等に関すること
 - (1) 地域内の不法投棄について市と連絡を密にして防止対策等への協力。
3. ごみの収集、処理等に関する意見及び情報の提供に関すること。
4. その他
 - (1) 地区別研修会 平成24年7月24日（火）～平成24年8月5日（日）
10地区開催 参加者 148名（町会役員含む）
 - (2) ごみ処理関連施設視察研修会 平成25年2月5日（火）参加者 52名
【視察先】 吹田市千里リサイクルプラザ
アサヒビール吹田工場



千里リサイクルプラザ概要説明の風景

(3) 違法屋外広告物追放登録員

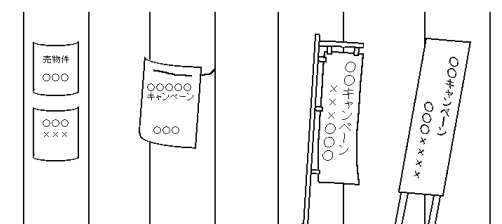
ア 団体の概要

この制度は、屋外広告物法第7条第4項ただし書き並びに大阪府屋外広告物条例第26条に基づく市長の権限の一部を、市長が認定した「岸和田市違法屋外広告物追放登録員」に委任することで、住民と市が一体となり地域の美観を維持するとともに、違法屋外広告物追放の啓発推進をまちぐるみで取り組むことを目的としています。

イ 登録員が除却できる看板類

除却できるものは、法で定めるはり紙、はり札等・広告旗・立看板等（これらを支える台を含む）で道路上の禁止物件（街路樹・電柱・道路標識・ガードレール等）に掲出されたもの。

イラストイメージ



ウ 平成24年度 登録団体数及び登録員数

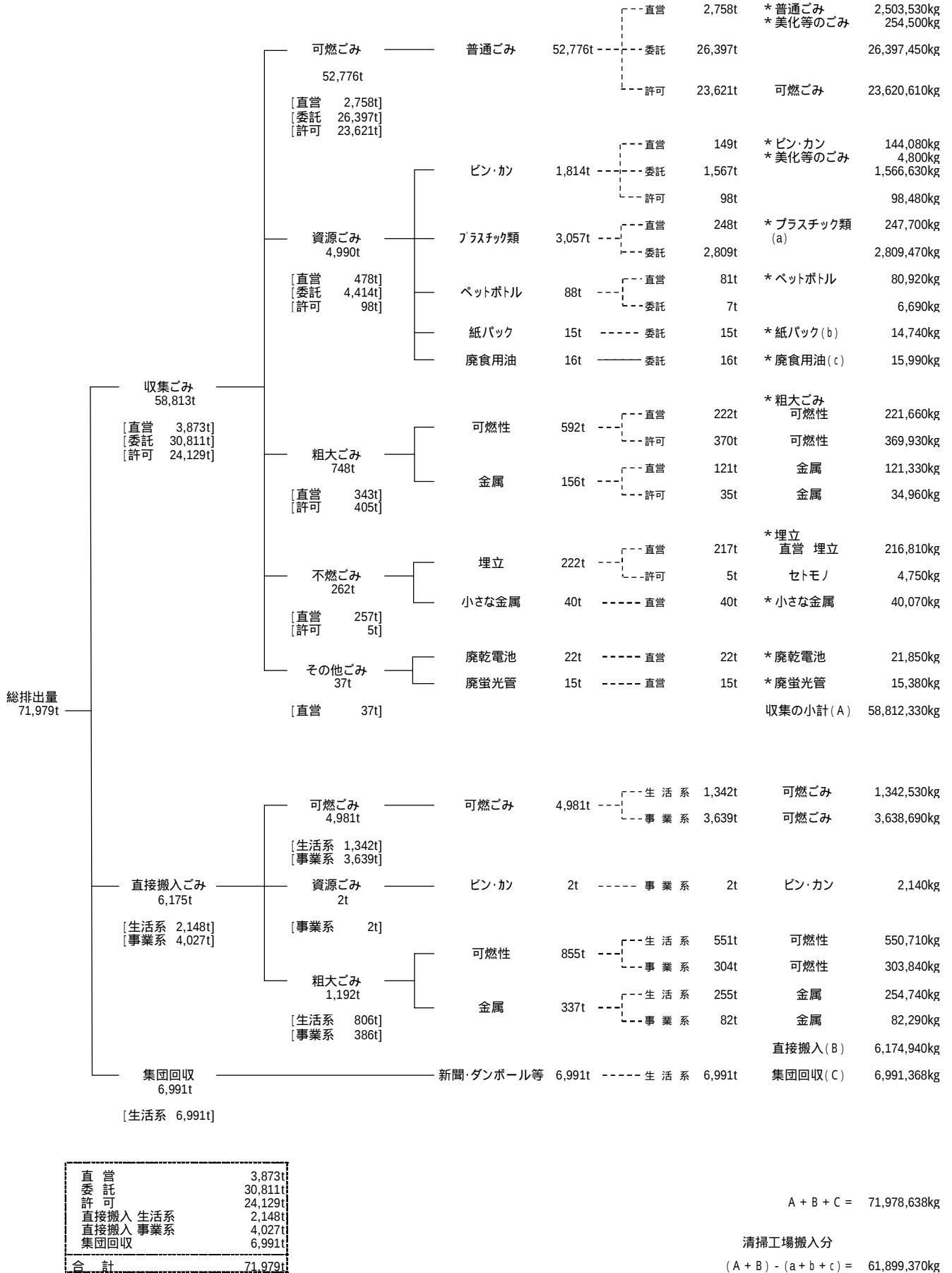
登録団体	登録員
25 団体	1,132 人

エ 平成24年度 広告物除去活動実施状況

	広告物除去数 (枚)				実施回数	参加人数
	はり札 はり紙	立看板	広告旗	合計		
登録団体	1,629	2	2	1,633	21	135
関西電力広告部	385	-	1	386	14	84
生活環境課	4,496	2	-	4,498	45	92
合 計	6,510	4	3	6,517	80	311

7 その他資料

ごみの流れ



ごみ処理フロー

